

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
340	1 学年		絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(小1段階) (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	120	(知及技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「見通しのある毎日の生活」 (ウ 日課・予定) 「やってみよう」 (ア 基本的生活習慣)	ウ 日課・予定 日課に沿って教師と共にする学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な日課に気付き教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。 (イ) 簡単な日課について関心をもつ。 ア 基本的生活習慣 食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (イ)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな場所を知ろう」 (コ 社会の仕組みと公共施設) 「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 (エ 遊び)	コ 社会の仕組みと公共施設 身の回りの公共施設(各教室など)に関わる学習活動を行う。 (ア)(イ) 身の回りにある公共施設(各教室など)に気付き、場所を覚えたり、使い方などについて関心をもつ。 エ 遊び 自分で好きな遊びをすることに关わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (サ 生命・自然)	サ 生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気付くことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。

		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「安全のためにきまりを守ろう」 (イ 安全)	イ 安全 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (イ) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付ける。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「一緒にやってみよう」 (自分の係活動に取り組む) (カ 役割)	カ 役割 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする。 (イ) 集団の中での役割に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「気持ちを伝えよう」 (オ 人との関わり)	オ 人との関わり 小さな集団の中での学習活動を行う。 (ア) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶や返事等をしようとする。 (イ) 身の回りの人との関わり方に関心をもつ。
	2 学期	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「公共施設を知ろう」 (コ 社会の仕組みと公共施設)	コ 社会の仕組みと公共施設 身の回りの公園や公共施設に関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒に伝えようとする。 (イ) 身の回りの社会の仕組みや公共施設について関心をもつ。
	150	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「買い物をしてみよう」 (ク 金銭の扱い)	ク 金銭の扱い 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとする。 (イ) 金銭の扱い方などに関心をもつ。

3 学 期		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな遊び」 (昔遊びをしよう) (エ 遊び)	エ 遊び 自分で好きな遊びをすることに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気づき、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
	70	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (育てみよう) (サ 生命・自然)	サ 生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気づくことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「友達と協力して係活動をしよう」 (大掃除をしよう) (キ 手伝い・仕事)	キ 手伝い・仕事 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師や友達と一緒にしようとする。 (イ) 簡単な手伝いや仕事に関心を持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1学年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		こくご☆ 絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。(小1段階) (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。(小1段階) (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「学校のことを話そう」 (A 聞くこと・話すこと) 学校生活、朝の会、係、自己紹介	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア- (ア)】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】
		(知及技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「いろいろな言葉」 (A 聞くこと・話すこと) 学校生活、返事、あいさつ 自己紹介	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】
		(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりすることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりしようとしている。	「しるし」 (A 聞くこと・話すこと) 絵カード (C 読むこと) 「○」「→」など簡単な記号、絵カード	・身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【A-ア(ア)】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
		(知及技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れようとしている。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとしている。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めようとしている。	「いろいろな筆記用具を使ってみよう」 (B 書くこと) 書いてみよう	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。【イ-(ウ)㉗】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㉘】

2 学 期		(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 何が出てくるかな」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) まほうのはこ	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。 【ア- (ア)】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ- (イ)】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「やり取りを楽しもう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気づき、注目すること。【C-ア】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
	30	(知及技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思判表力)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣することができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思・判・表)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣しようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「お話を演じてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。【A-ア】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「年賀状やクリスマスカードを書こう」 「自分の名前」 (B 書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㉔】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㉔】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。【B-イ】
		(知及技)筆や墨を使って書くことができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆や墨を使って書くことができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「書き初めをしよう」 (B 書くこと) 「言葉で遊ぼう～かるたあそびをしよう～」 (A 聞くこと・話すこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㉔】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㉔】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア- (イ)】
3 学 期	14	(知及技)具体物や絵を見て言葉と結びつけることができる。材料集めから、でき上がりを振る舞うまでの流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感することができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物や絵を見て言葉と結びつけようとしている。材料集めから、でき上がりまで言葉が表す事物やイメージを実感しようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「作り方をみんなで話してみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) ほっとけき	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。 【ア- (ア)】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア- (イ)】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。 【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。 【C-イ】

		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「メッセージや1年の思い出を書こう」 「自分の名前」 (B 書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㊦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㊦】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-7】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。 【B-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1学年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (主学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「一つずつあわせてみよう」 (A 数量の基礎 イ ものともとの対応) ・自分のマークを覚えて、生活で使う物の場所を確認できるようにする。	ア 具体物に関わる数学的活動について (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ ものともとの対応させることに関わる数学的活動にういて (イ) ⑦ものともとの関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。
		A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (主・学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「パズルをやってみよう」 (A 数量の基礎 イ ものともとの対応) ・いろいろなパズルをやってみよう	ア 具体物に関わる数学的活動について (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ ものともとの対応させることに関わる数学的活動にういて (ア) ①分割した絵カードを組み合わせること。 ②関連の深い絵カードを組み合わせること。
		C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについてわかる。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「おなじものをあわせてみよう」 (C 図形 ア) ・形、色などの具体物を通して、同じ物を集めたりする。	ア ものの類別や分類・整理に関わることにういて (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ④形を観点に区別する。 ⑦形が同じものを選ぶ。 ⑤似ている二つのものを結びつける。 ⑥関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ⑥同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ⑦ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ⑦ものともとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		B 数と計算 (知及技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主学) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B 数と計算 ア 数えることの基礎) ・数字を歌や視覚的支援を通して数字のイメージを持たせる。	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ⑦ものの有無に気付く。 ④3までの範囲で具体物を取る。 (イ) ⑦数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付く、それらを学習や生活に生かす。
2 学 期	30	B 数と計算 (知及技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B 数と計算 ア 数えることの基礎) ・1～5までの数を歌や視覚的支援を通して覚えられようにする。	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動について ⑦ものの有無に気付く。 ④目の前のものを、1個、2個、たくさんで表す。 ⑦5までの範囲で数唱をする。 ⑦形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付く。
		B 数と計算 (知及技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「すうじをよもう」 (B 数と計算 ア 数えることの基礎) ・1～3までの具体物等を通して数える。	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動について ⑦ものの有無に気付く。 ④目の前のものを、1個、2個、たくさんで表す。 ④3までの範囲で具体物を取る。 ④対応させてものを配る。
		C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付く、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付く、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付く、違いに応じて関わることについてわかりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付く、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「いろいろな形をみつ けよう」 (C 図形 ア ものの種別) ・いろいろな具体物を通して形の特徴をとらえる。	ア ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ④形を観点に区別する。 ⑦形が同じものを選ぶ。 ④似ている二つのものを結びつける。 ④関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ⑦同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に気付く、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ④ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心を持つ。 ⑦ものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付く、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わるることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わるることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「まる、さんかく、しかく」 (B 図形 イ 身の回りにあるものの形) ・○△□の具体物を通して、形の違いに気付く。	ア ものの類別や分類・整理に関わるることについて (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ⑧形を観点に区別する。 ⑨形が同じものを選ぶ。 ⑩似ている二つのものを結びつける。 ⑪関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ⑫同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ⑧ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ⑨ものともとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。
3 学期	14	D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「大きさのちがうものを分けてみよう」 (D 測定 ア 身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ⑦大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ⑧ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。
		D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「見た目の大ききで分けてみよう」 (D 測定 ア 身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・いくつかの大きいもの、小さいものをわける。	ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ⑦大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ⑧ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ⑦大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
		D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「比べる言葉」 (D 測定 ア 身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ⑦大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ⑧ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ⑦大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小2段階） （思判表力）感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小2段階） （学・人）音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小2段階）			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	24	（知及技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 （思判表力）好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 （学・人）音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	（知・技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 （思・判・表）好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 （主学）音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（APT） 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌（春の小川等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・春に関する曲
		（知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 （思判表力）身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 （学・人）拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	（知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 （思・判・表）身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 （主学）拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つとうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（APT） 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌（こいのぼり等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲
		（知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。 （思判表力）声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 （学・人）教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	（知・技）教師や友達と一緒に歌おうとしている。 （思・判・表）声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 （主学）教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌（月桃等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・カスタネット 【鑑賞・共通事項】 ・6月にちなんだ曲
		（知及技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 （思判表力）簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 （学・人）教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	（知・技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 （思・判・表）簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 （主学）教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌（ヤッホッホ夏休み等） 【器楽・共通事項】 ・カスタネット 【鑑賞・共通事項】 ・7月にちなんだ曲
		（知及技）範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 （思判表力）身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 （学・人）郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	（知・技）範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 （思・判・表）身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 （主学）郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） ・校歌ダンス（運動会用） 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌（つき等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・9月にちなんだ曲

2 学 期	30	【知及技】楽器の音色の違いに気付くことができる。 【思判表力】音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 【学・人】好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	【知・技】楽器の音色の違いに気付いている。 【思・判・表】音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 【主学】好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・10月にちなんだ曲
		【知及技】曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 【思判表力】歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 【学・人】テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	【知・技】曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 【思・判・表】歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 【主学】テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（小） 【鑑賞・共通事項】 ・11月にちなんだ曲
		【知及技】自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 【思判表力】身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 【学・人】身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	【知・技】自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 【思・判・表】身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 【主学】身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（大） 【鑑賞・共通事項】 ・12月にちなんだ曲
3 学 期	14	【知及技】身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 【思判表力】音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとするすることができる。 【学・人】わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	【知・技】身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 【思・判・表】音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとしている。 【主学】わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・1月にちなんだ曲
		【知及技】曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 【思判表力】簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 【学・人】歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	【知・技】曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 【思・判・表】簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 【主学】歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・2月にちなんだ曲
		【知及技】教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 【思判表力】鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 【学・人】一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	【知・技】教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 【思・判・表】鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 【主学】一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（ありがとうさようなら等） 【器楽・共通事項】 ・児童の好きな楽器（タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴、太鼓） 【鑑賞・共通事項】 ・3月にちなんだ曲
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1学年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。(小1段階) (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。(小1段階) (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「誕生日表」 「母の日のプレゼント」 「こいのぼり」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「こいのぼり」 「ぬたくりあそび」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「父の日のプレゼント」 「色水あそび」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをする。【A-ア(1)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】

		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「七夕飾り」 「感触あそび」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】
2 学期	30	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「敬老の日のプレゼント」 「運動会のポスター作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ハロウィンの装飾作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「粘土あそび」 「勤労感謝の日のプレゼント」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】

		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	版画あそび」 「クリスマス装飾作り」 「お正月飾り作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをする事。 【A-ア(1)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】
3 学 期	14	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「鬼のお面」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ひな祭り装飾作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「作品入れ作り」 「プレゼントカード作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小2段階） （思判表力）遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小2段階） （学・人）遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	24	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム ・台風の目 ・大玉転がし ・玉入れ ・風船バレー ・しっぽ取りゲーム ・かけっこ ・サーキット - 等
5月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム ・台風の目 ・大玉転がし ・玉入れ ・風船バレー ・しっぽ取りゲーム ・かけっこ ・サーキット - 等
6月		（知及技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 （思判表力） 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 （学・人） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	（知・技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようしたり、水中に入れようすることができる。 （思・判・表） 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 （主学） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、パタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
7月				「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	

9月	30	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
10月				「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	
11月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
12月				「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	
1月	14	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しむことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しむことができる。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

3月	【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して	(知及技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等	・ (A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・ (F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・ (G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・ 単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部1学年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
34		1 学年			絵本・パネルシアター等
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助け合う心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身に付ける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割がわかり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・いろいろな挨拶(1) 【B 友情、信頼】 ・友達と仲よく	・学級開き ・「おはよう」「いただきます」「ありがとう」等 ・春の遠足
		・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 家庭生活の充実】 ・家族 【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・わがままをしない	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね(1) 【D 自然愛護】 ・自然の中で(1)	・集団でのルール ・草花の栽培、観察
2 学期	15	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね(2) 【D 自然愛護】 ・自然の中で(2)	・友達と一緒に ・草花の栽培、観察
		・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って	・公共施設でのマナー ・遊ぶときの約束
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえない生命を大切にしようとする。 ・働くことの良さを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・生命がもつ力 【C 公共の尊重】 ・働くことのよさ	・けがをしたとき ・防災について ・当番の役割

		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・いろいろな挨拶(2)	・場面に合わせたあいさつ ・人との関わり
3 学 期	7	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 正直、誠実】 ・いつも素直に	・素直に ・どんなきもち
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで	・良いこと、悪いこと
		・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・優しいきもち ・お手紙を書こう ・もうすぐ〇年生
年 間 を 通 し て		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留 意 点 引 継 ぎ 等					

令和7年度 小学部1学年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流 （・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を定める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期		・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・2学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・2学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流 （・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・2学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・2学期頑張ろう会に参加する。 ・2学期の行事の確認 ・2学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・2学期の係活動を定める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・2学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知・技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和7年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
170	1学年		絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	60	(知及技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 (ア基本的な生活習慣) 「どんな一日？」 (カ日課・予定)	・簡単な身辺処理を教師と一緒にやる。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
		(知及技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 (エ遊び) 「自然に触れよう」 (サ生命・自然)	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
		(知及技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 (思判表力) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 (思・判・表) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 (ケきまり)	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
		(知及技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。

2 学期	75	（知及技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 （思判表力）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 （力役割）	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にしたりする。
		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物しようとする。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
3 学期	35	（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
		（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり、地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。

		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」（オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」（ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒にいたり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。
年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようすることができる。	（知・技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」（カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」（サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化に触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」（エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1 学年		絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。(小1段階) (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。(小1段階) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。 (ア言葉の特徴(イ))(イ我が国の言語文化(ア)(エ)) (思判表力) 身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A聞くこと・話すことアイ)(C読むことイ) (学・人) 言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技) 教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 (評価資料) 活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「学校だいすき」 (A聞くこと・話すこと) 「いろいろな言葉」 (A聞くこと・話すこと)	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。(知及技に関する活動) ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごししながら、教師の言葉に耳を傾ける。(思判表力に関する活動)
2 学期	15	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる(イ我が国の言語文化(イ)) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ我が国の言語文化(ウ)) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。 (A聞くこと・話すことア)(C読むことアウエ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 (思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「やりとりを楽しもう」 (A聞くこと・話すことC読むこと) 「言葉で遊ぼう」 (A聞くこと・話すこと)	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ(知及技に関する活動) ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。(思判表力に関する活動)

3 学 期	7	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じるができる。(ア 言葉の特徴(ア)) (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。(A 聞くこと・話すこと ウ) 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。(B 書くこと アイ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 (思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「つたえよう」 (A聞くこと・話すこと) 「絵本だいすき」 (A聞くこと・話すこと)	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。(知及技に関する活動) ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。(思・判・表) ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。(思・判・表)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1 学年		絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
------	--	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものともとのを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものともとのを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものともとのを対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものともとのを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものともとのの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・ブットイン教材 ・ソフト積み木
2 学期	15	(知及技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3 学期	7	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小1段階) (学・人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして3拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ・校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞する。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第5	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽	(知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽	「からだを動かそう」(音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・3びきのやぎのらがらどん	・セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。

2 学 期	30	活動をする楽しさを表現することができる。	活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」 (音) ・おぼけなんてないさ ・おやつたーぺよ ・バスごっこ 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」 (音) ・きらきらぼし 「むかいあつたのしくあそぼう」(音) ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやりズムを楽しもう」(鑑) ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」 (音) ・赤鼻のトナカイ 「うたやりズムを楽しもう」(鑑) ・あわてんぼうのサンタクロース	・季節の曲を楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3 学 期	14	(知及技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思判表力) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (学・人) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	(知・技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (主学) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」 (音) ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」(音) ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。
				「歌って踊って」(音) ・ちえっちえっこり 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて1年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人) 表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしてすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむようとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせでお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう ～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」 (B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2 学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」 (B鑑賞) 「作ってみよう ～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう ～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう ～いろいろな形をべたべた押し～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ

3 学 期	14	（知及技） 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。 （思判表力） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとする事ができる。 （学・人） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	（知・技） 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。 （思・判・表） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 （主学） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「筆で描いてみよう ～書き初め遊び～」（A表現）（B鑑賞）	・墨汁の匂いや部での感触を味わいながら、教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め遊び
				「粘土で遊ぼう ～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」（A表現）	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう ～ピリピリ・ひらひら～」（A表現）	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。 ・ちぎった紙で壁面画や造形物を制作する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。(小1段階) (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。(小1段階) (学・人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。(小1段階)		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム ※上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しみ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
2 学 期	30	【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走
3 学 期	14	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・（A 体づくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部1学年（Ⅱ課程B） 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
34		1 学年			絵本・パネルシアター等
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	「学校、だいすき」「いっしょってあったかいね」「みんなでやってみよう」「いのち探検隊」	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう ぶう ぶう」「あーそーぼ」「くつついた」「あめふりあつくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2 学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在や集団の雰囲気を感じ、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3 学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の感情や集団の雰囲気を感じ、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれし いね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部1年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期	13	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知・技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和5年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期始業式、終業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部2年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
350	2年		絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(小1段階) (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	130	(知及技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活のことなどに関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「見通しのある毎日の生活」 (ウ 日課・予定) 「やってみよう」 (ア 基本的生活習慣)	ウ 日課・予定 日課に沿って教師と共にする学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な日課に気付き教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。 (イ) 簡単な日課について関心をもつ。 ア 基本的生活習慣 食事や用便等の生活習慣に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (イ)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもとうとする。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな場所を知ろう」 (コ 社会の仕組みと公共施設) 「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 (エ 遊び)	コ 社会の仕組みと公共施設 身の回りの公共施設(各教室など)に関わる学習活動を行う。 (ア)(イ) 身の回りにある公共施設(各教室など)に気付き、場所を覚えたり、使い方などについて関心をもつ。 エ 遊び 自分で好きな遊びをすることに关わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもとうとする。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (サ 生命・自然)	サ 生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気付くことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。

		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「安全のためにきまりを守ろう」 (イ 安全)	イ 安全 危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動を行う。 (ア) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (イ) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付ける。
2 学期	150	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「一緒にやってみよう」 (自分の係活動に取り組む) (カ 役割)	カ 役割 学級等の集団における役割などに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする。 (イ) 集団の中での役割に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「気持ちを伝えよう」 (オ 人との関わり)	オ 人との関わり 小さな集団の中での学習活動を行う。 (ア) 教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶や返事をしようとする。 (イ) 身の回りの人との関わり方に関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「公共施設を知ろう」 (コ 社会の仕組みと公共施設)	コ 社会の仕組みと公共施設 身の回りの公園や公共施設に関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒に伝えようとする。 (イ) 身の回りの社会の仕組みや公共施設について関心をもつ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「買い物をしてみよう」 (ク 金銭の扱い)	ク 金銭の扱い 簡単な買い物や金銭を大切に扱うことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとする。 (イ) 金銭の扱い方などに関心をもつ。

3 学 期		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「いろいろな遊び」 (昔遊びをしよう) (エ 遊び)	エ 遊び 自分で好きな遊びをすることに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの遊びに気づき、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。 (イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。
	70	(知及技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会、自然に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会、自然との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会、自然に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「身近な生き物や自然を知ろう」 (育てみよう) (サ 生命・自然)	サ 生命・自然 教師と一緒に(校庭)や公園、野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りにある生命や自然に触れることで気づくことができる。 (イ) 身の回りの生命や自然について関心を持つ。
		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (学・人) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組む。	(知・技) 自分自身や身近な人々、社会に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて関心をもつ。 (主・学) 自分のことや身近な人々や社会に感心をもち、意欲をもって取り組もうとする。	「友達と協力して係活動しよう」 (大掃除をしよう) (キ 手伝い・仕事)	キ 手伝い・仕事 教師と一緒に身の回りの簡単な手伝いなどに関わる学習活動を行う。 (ア) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師や友達と一緒にしようとする。 (イ) 簡単な手伝いや仕事に関心を持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	2年		こくご☆ 絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小1段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小1段階） (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小1段階）
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	39	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「学校のことを話そう」 (A 聞くこと・話すこと) 学校生活、朝の会、係、自己紹介	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【ア- (ア)】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】
		(知及技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けることができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりすることができる。	(知・技)挿絵を用いて日常生活に必要な挨拶や動作、感情を表す言葉を場面に応じて聞いたり、模倣したりして、言葉の関わりに意識を向けようとしている。 (思・判・表)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学)表情や身振り、音声や発語等によって、意思を伝えようとしたりしている。	「いろいろな言葉」 (A 聞くこと・話すこと) 学校生活、返事、あいさつ 自己紹介	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】
		(知及技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりすることができる。 (学・人)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりすることができる。	(知・技)身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じようとしている。 (思・判・表)絵や写真、簡単な記号などが表す意味を感覚的に識別し、選択したり、行動したりしようとしている。 (主学)自分なりの表現で、話をしようとしたり、意思を伝えようとしたりする意欲を高めたりしようとしている。	「しるし」 (A 聞くこと・話すこと) 絵カード (C 読むこと) 「○」「→」など簡単な記号、絵カード	・身近な人からの話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること。【A-ア(ア)】 ・絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。【C-ウ】
		(知及技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)身近なクレヨン、ペン、鉛筆等を使って書くことに気付き、慣れようとしている。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとしている。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めようとしている。	「いろいろな筆記用具を使ってみよう」 (B 書くこと) かいてみよう	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。【イ-(ウ)㉗】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㉘】

2 学 期		(知及技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させることができる。 (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりすることができる。	(知・技)具体物を使って身近な事物の名前や動作を繰り返すことで、遊びの中で言葉と事物を一致させようとしている。 (思・判・表)絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりしようとしている。 (学・人)声や言葉を使った遊びや関わりを通して、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりしようとしている。	「言葉で遊ぼう 何が出てくるかな」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) まほうのはこ	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。 【ア- (ア)】 ・遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。【イ- (イ)】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりしようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「やり取りを楽しもう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気づき、注目すること。【C-ア】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
	45	(知及技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思判表力)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣することができる。 (学・人)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しむことができる。	(知・技)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (思・判・表)絵などを見て登場人物の動きや言葉などを模倣しようとしている。 (主学)物語の一場面を身振りや音声、簡単な言葉で表現したり、動作化したりして親しもうとしている。	「お話を演じてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話し集会に向けて	・教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。【A-ア】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「年賀状やクリスマスカードを書こう」 「自分の名前」 (B 書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ- (ウ) ㊦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ- (ウ) ㊦】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。【B-イ】
		(知及技)筆や墨を使って書くことができる。 (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆や墨を使って書くことができる。 (思・判・表)文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「書き初めをしよう」 (B 書くこと) 「言葉で遊ぼう～かるたあそびをしよう～」 (A 聞くこと・話すこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ- (ウ) ㊦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ- (ウ) ㊦】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア- (イ)】
3 学 期	21	(知及技)具体物や絵を見て言葉と結びつけることができる。材料集めから、でき上がりまで流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感することができる。 (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (学・人)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりすることができる。	(知・技)具体物や絵を見て言葉と結びつけようとしている。材料集めから、でき上がりまで流れの中で言葉が表す事物やイメージを実感しようとしている。 (思・判・表)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表そうとしている。 (主学)気持ちを身振りや音声、言葉で表現したり伝えたりしようとしている。	「作り方をみんなで話してみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) ほっとけーき	・身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。 【ア- (ア)】 ・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。【ア- (イ)】 ・身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。 【A-イ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。【A-ウ】 ・絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。 【C-イ】

		(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思判表力)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (学・人)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	(知・技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表)正しい書写の姿勢で文字をなぞったり、真似て書いたりして、メッセージや1年の思い出などを書くことができる。 (主学)書くことに親しみ、書いて表現することへの興味・関心を高めることができる。	「メッセージや1年の思い出を書こう」 「自分の名前」 (B 書くこと)	・いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ること。 【イ-(ウ)㊦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。【イ-(ウ)㊦】 ・身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-7】 ・文字に興味をもち、書こうとすること。 【B-イ】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (主学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「一つずつあわせてみよう」 (A 数量の基礎 イ ものともとの対応)・自分のマークを覚えて、生活で使う物の場所を確認できるようにする。	ア 具体物に関わる数学的活動について (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ ものともとの対応させることに関わる数学的活動にういて (イ) ⑦ものともとの関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。
		A 数量の基礎 (知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかる。 (思判表力) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持つ。 (主・学) 数量や図形(もの)に気付き、算数の学に関心を持って取り組もうとしている。	「パズルをやってみよう」 (A 数量の基礎 イ ものともとの対応)・いろいろなパズルをやってみよう	ア 具体物に関わる数学的活動について (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉える。 イ ものともとの対応させることに関わる数学的活動にういて (ア) ④分割した絵カードを組み合わせること。 ⑦関連の深い絵カードを組み合わせること。
		C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「おなじものをあわせてみよう」 (C 図形 ア)・形、色などの具体物を通して、同じ物を集めたりする。	ア ものの類別や分類・整理に関わることにういて (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ④形を観点に区別する。 ⑤形が同じものを選ぶ。 ⑤似ている二つのものを結びつける。 ④関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ⑦同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ④ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ⑤ものともとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		B 数と計算 (知及技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主学) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B 数と計算 ア 数えることの基礎) ・数字を歌や視覚的支援を通して数字のイメージを持たせる。	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ⑦ものの有無に気付く。 ④3までの範囲で具体物を取る。 (イ) ⑦数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付く、それらを学習や生活に生かす。
2 学 期	30	B 数と計算 (知及技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「かぞえてみよう」 (B 数と計算 ア 数えることの基礎) ・1～5までの数を歌や視覚的支援を通して覚えられようにする。	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ⑦ものの有無に気付く。 ④目の前のものを、1個、2個、たくさんで表す。 ⑦5までの範囲で数唱をする。 ⑦形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付く。
		B 数と計算 (知及技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わる。 (思判表力) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする。 (学・人) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) ものの有無や3までの数的要素に気付く、身の回りのものの数に関心をもって関わりようとする。 (思・判・表) 身の回りのものの有無や数的要素に注目し、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現しようとする。 (主・学) 数量に気付く、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「すうじをよもう」 (B 数と計算 ア 数えることの基礎) ・1～3までの具体物等を通して数える。	ア 数えることの基礎に関わる数学的活動について (ア) ⑦ものの有無に気付く。 ④目の前のものを、1個、2個、たくさんで表す。 ④3までの範囲で具体物を取る。 ④対応させてものを配る。
		C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付く、違いに応じて関わることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付く、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付く、違いに応じて関わることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付く、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「いろいろな形をみつ けよう」 (C 図形 ア ものの種別) ・いろいろな具体物を通して形の特徴をとらえる。	ア ものの類別や分類・整理に関わることについて (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもしたり、目で追ったりする。 ④形を観点に区別する。 ④形が同じものを選ぶ。 ④似ている二つのものを結びつける。 ④関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ④同じもの同士で集合づくりをする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に気付く、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ④ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心を持つ。 ④ものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付く、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。

		C 図形 (知及技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わるることについてわかる。 (思判表力) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする。 (学・人) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組む。	(知・技) 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わるることについてわかろうとする。 (思・判・表) 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えようとする。 (主学) 図形に気付き、算数の学習に関心を持って取り組もうとしている。	「まる、さんかく、しかく」 (B 図形 イ 身の回りにあるものの形) ・○△□の具体物を通して、形の違いに気付く。	ア ものの類別や分類・整理に関わることにについて (ア) ⑦具体物に気付いて指を指したり、つかもとしたり、目で追ったりする。 ⑧形を観点に区別する。 ⑨形が同じものを選ぶ。 ⑩似ている二つのものを結びつける。 ⑪関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ⑫同じもの同士の集合づくりをする。 (イ) ⑦対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉える。 ⑧ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心を持つ。 ⑨ものともとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かす。
3 学 期	14	D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「大きさのちがうものを分けてみよう」 (D 測定 ア 身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ⑦大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ⑧ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。
		D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「見た目の大ききで分けてみよう」 (D 測定 ア 身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・いくつかの大きいもの、小さいものをわける。	ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ⑦大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ⑧ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ⑦大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
		D 測定 (知及技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わる。 (思判表力) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつける。 (学・人) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組む。	(知・技) 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養うとともに、量に関わろうとする。 (思・判・表) 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力をつけようとする。 (主学) 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする。	「比べる言葉」 (D 測定 ア 身の回りにある具体物のもつ大きさ) ・「大きい」「小さい」を知り、具体物を比べて分ける。	ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動について (ア) ⑦大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別する。 ⑧ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現する。 (イ) ⑦大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		音楽動画・音声教材 おんがく☆・おんがく☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小2段階) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学・人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思・判・表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「春を感じよう」 「歌で仲良しになろう」 「音を出してみよう」 「からだを動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・校歌 ・はるがきた 【器楽・共通事項】 ・どんぐりさんのおうち ・パンパン 【音楽づくり・共通事項】 ・お返事しよう 【身体表現・共通事項】 ・ドラえもん ・口笛吹きと子犬 【鑑賞・共通事項】 ・こいのぼり
		(知及技) 器 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力) 鑑 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つようとしている。	「声を合わせて」 「打楽器にちょうせん」 「まねてみよう」 「耳をすませて」	【歌唱・共通事項】 ・かえるの合唱 ・ともだちになるために 【器楽・共通事項】 ・とけいのうた ・ぶんぶんぶん 【音楽づくり・共通事項】 ・かえるの音あそび 【身体表現・共通事項】 ・手をつなぎましょう ・まねっこどうぶつ 【鑑賞・共通事項】 ・いろいろな音 ・おどるこねこ
		(知及技) 歌 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力) 音 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学・人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思・判・表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「交流会に向けて」 「音の高さを感じて」 「リズムにのって」 「ようすをおもいうかべて」	【歌唱・共通事項】 ・シャボン玉 ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・かえるの合唱 【音楽づくり・共通事項】 ・ペットボトルでメロディーづくり 【身体表現・共通事項】 ・はしの上で 【鑑賞・共通事項】 ・月桃 ・海の歌を歌おう

		(知及技) 音 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力) 身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学・人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「夏を感じよう」 「音の高さを感じて」 「声をききあおう」 「歌に合わせて身体を動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・南の島のはめはめは大王 【器楽・共通事項】 ・きらきらぼし 【音楽づくり・共通事項】 ・なまえあそび 【身体表現・共通事項】 ・エビカニックス 【鑑賞・共通事項】 ・ほしにねがい ・ヤッホッホ夏休み
		(知及技) 歌 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力) 器 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学・人) 郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「秋を感じよう」 「まつりを楽しもう」 「声を聞き合おう」 「拍を感じて」	【歌唱・共通事項】 ・やまびこごっこ ・ゆうやけこやけ 【器楽・共通事項】 ・エイサー ・マミードーマ、唐船ドイ 【音楽づくり・共通事項】 ・やまびこあそび 【身体表現・共通事項】 ・たぬきのたいこ 【鑑賞・共通事項】 ・つき ・三線の音色を聞こう
		(知及技) 器 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力) 音 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学・人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「歌のまねっこで遊ぼう」 「ひびきあいを楽しもう」 「拍を感じて」 「音楽に合わせて身体を動かそう」 「物語の音楽を楽しもう」	【歌唱・共通事項】 ・カレライス 【器楽・共通事項】 ・虫のこえ 【音楽づくり・共通事項】 ・音あてあそび 【身体表現・共通事項】 ・きのこ 【鑑賞・共通事項】 ・おおきなかぶ ・シンコパーテッドクロック
2 学期	30	(知及技) 身 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力) 歌 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学・人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「みぶりをつけてみんなであそぼう」 「リズムで遊ぼう」 「拍を感じて」 「みんなであそぼう」 「耳をすまそう」	【歌唱・共通事項】 ・ふしぎなポケット 【器楽・共通事項】 ・おもちゃのチャチャチャ 【音楽づくり・共通事項】 ・口でいろんな音を出そう 【身体表現・共通事項】 ・かもつれっしや 【鑑賞・共通事項】 ・おもちゃの兵隊 ・ぼうがいつぼんあったとき

		(知及技) 歌 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力) 器 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学・人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「様子を思いうかべながら歌おう」 「リズムにのって音を出してみよう」 「音を当てよう」 「楽しくダンス」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・やぎさんゆうびん 【器楽・共通事項】 ・あわてんぼうのサンタクロース 【音楽づくり・共通事項】 ・音の出し方いろいろ 【身体表現・共通事項】 ・ハッピークリスマス ・こいぬのビンゴ 【鑑賞・共通事項】 ・サンタが町にやってくる
3 学 期	14	(知及技) 鑑 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力) 音 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学・人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけるようにしている。 (思・判・表) 音遊びを通して音の面白さに気付き、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「冬を感じよう」 「音を合わせて楽しもう」 「日本のしらべにのって」 「耳をすまして」	【歌唱・共通事項】 ・北風小僧の寒太郎 ・とんくるりんぱんくるりん 【器楽・共通事項】 ・ゆきのおどり 【音楽づくり・共通事項】 ・らくらく打楽器メロディ 【身体表現・共通事項】 ・はないちもんめ ・おちゃらかほい 【鑑賞・共通事項】 ・スケーターズワルツ
		(知及技) 歌 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力) 身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学・人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・てのひらをたいように ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・おにのパンツ ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・白鳥 ・うれしいひなまつり
		(知及技) 音 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力) 鑑 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「一年間を振り返ろう」	【歌唱・共通事項】 ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・思い出のアルバム
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		あそびのおうさまBOOKはって

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。(小1段階) (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。(小1段階) (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「誕生日表」 「母の日のプレゼント」 「こいのぼり」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「こいのぼり」 「ぬたくりあそび」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(ア)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(ア)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「父の日のプレゼント」 「色水あそび」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどをする。【A-ア(イ)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(ア)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(イ)】

		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「七夕飾り」 「感触あそび」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】
2 学期	30	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「敬老の日のプレゼント」 「運動会のポスター作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「ハロウィンの装飾作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとしている。	「粘土あそび」 「勤労感謝の日のプレゼント」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。【共通事項-ア(1)】

		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとしている。	版画あそび」 「クリスマス装飾作り」 「お正月飾り作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどを行うこと。 【A-ア(1)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・形や色などを基に、自分のイメージを持つこと。 【共通事項-ア(1)】
3 学 期	14	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとしている。	「鬼のお面」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。 【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。 【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとしている。	「ひな祭り装飾作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。 【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。 【共通事項-ア(7)】
		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。 (学・人) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとする。	(知・技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (思・判・表) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりしようとする。 (主学) 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることで、より楽しい生活を創造しようとしている。	「作品入れ作り」 「プレゼントカード作り」 (A 表現 B 鑑賞 共通事項)	・材料などから、表したいことを思いつくこと。 【A-ア(7)】 ・身の回りにあるものなどを見ること。 【B-ア(7)】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと。 【共通事項-ア(7)】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。(小2段階) (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。(小2段階) (学・人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 教師の支援を受けながら、横歩きや四つ這い、高這いをする ことができる。 (思判表力) リズムに合わせて、ゆっくり歩いたり、速く走ったりすることができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、友達と一緒にゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、横歩きや四つ這い、高這いをする ようとしている。 (思・判・表) リズムに合わせて、ゆっくり歩いたり、速く走ったりしよう としている。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、友達と一緒にゲームを行おう としている。	「レッツ！ダンス」 (F 表現運動)	・歩く、走る ・横歩き、後ろ歩き ・アヒル歩き、四つ這い、高這い ・スキップ、ギャロップ ・縄跳び ・簡単なゲーム（あつまりっこ、台風の目、玉入れ、しっぽ取りゲーム、玉入れ、大玉転がし等）
		(知及技) 教師の支援を受けて、体力テストを行うことができる。 (思判表力) どうやったら記録が伸びるか、教師の支援を受けて取り組むことができる。 (学・人) 昨年の自分の記録と比較し、成長した様子や記録の違いを感じることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、体力テストを行おうとしている。 (思・判・表) どうやったら記録が伸びるか、教師の支援を受けて、取り組もうとしている。 (主学) 昨年の自分の記録と比較し、成長した様子や記録の違いを感じようとしている。	「体力テスト」 (A 体づくり運動)	・握力 ・上体起こし ・長座体前屈 ・ソフトボール投げ ・50m走 ・立ち幅とび ・反復横跳び ・20mシャトルラン
		(知及技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 (思判表力) 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 (学・人) 簡単な決まりを守り、友達や教師と一緒に安全に楽しく遊ぶことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとする ことができる。 (思・判・表) 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼう としている。 (主学) 簡単な決まりを守り、友達や教師と一緒に安全に楽しく遊ぼう としている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび) 「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール

2 学期	30	(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び) 「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使っての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び
		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び) 「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
3 学期	14	(知及技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて何かになりきったり、自由に踊ったり、楽しく体を動かしたりすることができる。 (思判表力) 音楽やリズムに合わせて歩いたり、走ったり、弾んだり、回ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、意欲的に表現運動に取り組むことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて何かになりきったり、自由に踊ったり、楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 音楽やリズムに合わせて歩いたり、走ったり、弾んだり、回ったりしようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、意欲的に表現運動に取り組もうとしている。	「リズムにのって、1・2・3」 (F 表現運動)	・まねっこ動き ・なりきり動き ・自由にダンス ・リズムにのってダンス
		(知及技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び) 「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

年間を通して		(知及技) 教師の支援を受けながら、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けながら、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
		(知及技) 音楽を感じながら、自由に楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 音楽に合わせて、体を動かすことの楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 教師の支援を受けながら、進んで音楽に合わせて体を動かすことができる。	(知・技) 音楽を感じながら、自由に楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表) 音楽に合わせて、体を動かすことの楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 教師の支援を受けながら、進んで音楽に合わせて体を動かそうとしている。	「レッツ！ダンス」 (F 表現運動)	・ダンス ・エイサー
		(知及技) 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 (思判表力) 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 (学・人) 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	(知・技) 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 (思・判・表) 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 (主学) 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・(A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・(F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・(G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		2年			絵本・動画教材
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助け合う心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身に付ける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割がわかり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・いろいろな挨拶(1) 【B 友情、信頼】 ・友達と仲よく	・学級開き ・「おはよう」「いただきます」「ありがとう」等 ・春の遠足
		・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 家庭生活の充実】 ・家族 【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・わがままをしない	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね(1) 【D 自然愛護】 ・自然の中で(1)	・集団でのルール ・草花の栽培、観察
2 学期	15	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね(2) 【D 自然愛護】 ・自然の中で(2)	・友達と一緒に ・草花の栽培、観察
		・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って	・公共施設でのマナー ・遊ぶときの約束
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえない生命を大切にしようとする。 ・働くことの良さを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・生命がもつ力 【C 公共の尊重】 ・働くことのよさ	・けがをしたとき ・防災について ・当番の役割

		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・いろいろな挨拶(2)	・場面に合わせたあいさつ ・人との関わり
3 学 期	7	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 正直、誠実】 ・いつも素直に	・素直に ・どんなきもち
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで	・良いこと、悪いこと
		・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・優しいきもち ・お手紙を書こう ・もうすぐ〇年生
年 間 を 通 し て		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留 意 点 引 継 ぎ 等					

令和7年度 小学部 年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知・技）	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を定める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	13	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知及技） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知及技）	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。（知・技） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。（知・技）	・2学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・2学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・2学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・2学期頑張ろう会に参加する。 ・2学期の行事の確認 ・2学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・2学期の係活動を定める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・2学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和5年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	2年		絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	65	(知及技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 (ア基本的生活習慣) 「どんな一日？」 (カ日課・予定)	・簡単な身辺処理を教師と一緒に行う。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
		(知及技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 (エ遊び) 「自然に触れよう」 (サ生命・自然)	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
		(知及技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 (思判表力) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 (思・判・表) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 (ケきまり)	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
		(知及技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。

2 学期	75	（知及技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 （思判表力）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 （力役割）	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にしたりする。
		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物しようとする。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
3 学期	35	（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
		（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり、地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。

		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒にいたり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。
年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようすることができる。	（知・技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化に触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶうしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年		絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。(小1段階) (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。(小1段階) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技)呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。(ア言葉の特徴(イ))(イ我が国の言語文化(ア)(エ)) (思判表力)身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A聞くこと・話すこと アイ)(C読むことイ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 (思・判・表)身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 (評価資料)活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「学校だいすき」 (A聞くこと・話すこと) 「いろいろな言葉」 (A聞くこと・話すこと)	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。(知及び技に関する活動) ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所を過ごししながら、教師の言葉に耳を傾ける。(思判表力に関する活動)
2学期	15	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる(イ我が国の言語文化(イ)) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ我が国の言語文化(ウ)) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。(A聞くこと・話すこと ア)(C読むこと アウエ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 (思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「やりとりを楽しもう」 (A聞くこと・話すことC読むこと) 「言葉で遊ぼう」 (A聞くこと・話すこと)	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ(知及技に関する活動) ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。(思判表力に関する活動)
3学期	7	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じることができる。(ア言葉の特徴(ア)) (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。(A聞くこと・話すこと ウ) 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。(B書くこと アイ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 (思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「つたえよう」 (A聞くこと・話すこと) 「絵本だいすき」 (A聞くこと・話すこと)	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。(知及技に関する活動) ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。(思・判・表) ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。(思・判・表)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年		絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。		
------	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものともとの対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものともとの関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものともとの対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものともとの関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものともとの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・ブットイン教材 ・ソフト積み木
2学期	15	(知及技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞ともとの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞ともとの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験ををする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	7	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小1段階） (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。（小1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた・せんせいとおともだち ・こいのぼり・校歌 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・楽器の音あて	・おへんじうた ・せんせいとおともだち ・こいのぼり ・校歌 ・楽器の音あて
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり・かたつむり ・おべんとうばこのうた ・すずのきょく 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・すずのきょく	・こいのぼり ・かたつむり ・おべんとうばこのうた ・すずのきょく
				「うたおう」(音) ・かたつむり・ながぐつ のマーチ・うみ 「ならしてみよう」(音) ・あめの おとを ならしてみよう ・いろいろなおと 「みてきいて」(鑑) ・たなばた・はらぺこあおむし	・かたつむり ・ながぐつのマーチ ・うみ ・たなばた ・はらぺこあおむし
				「うたおう」(音) ・うみ・たなばた 「ならしてみよう」 ・あめの おとを ならしてみよう ・いろいろなおと 「みてきいて」(鑑) ・すてきなぼうしやさん	・うみ ・たなばた ・すてきなぼうしやさん

2 学 期	30	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	(知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」(音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・まじよのたつきゅうびん	・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ・まじよのたつきゅうびん
				「からだを動かそう」(音) ・おばけなんてないさ・パスごっこ 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・おもちゃのへいたい	・おばけなんてないさ ・ばすごっこ ・おもちゃのへいたい
				「楽器をならそう」(音) ・がっきをならそう 「むかいあつたのしくあそぼう」(音) ・びすけつとをやきましょう 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・おどるねこ	・もみじ ・がっきをならそう ・びすけつとをやきましょう ・おどるねこ
				「楽器をならそう」(音) ・おおきなたいこ・まつぼっくり 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・おちたおちた	・きらきらぼし ・赤鼻のトナカイ ・おおきなたいこ ・まつぼっくり ・おちたおちた
3 学 期	14	(知及技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思判表力) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (学・人) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	(知・技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (主学) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「どうぶつになってあそぼう」(音) ・のねずみ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・おちたおちた	・まめまき ・のねずみ ・くまさんくまさん ・おちたおちた
				「げんきなこえでうたおう」(音) ・こんこんくしゃんのうた 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・まめまき 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑)・さんびきのやぎのがらがらどん	・こんこんくしゃんのうた ・まめまき ・ひなまつり ・3びきのやぎのがらがらどん
				「すてきなどうぶつになってみよう」(音) ・ぞうさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・がぼっと	・ぞうさん ・なべなべそこぬけ ・かぼっと ・校歌
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人) 表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしてすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむようとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせでお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう ～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができくことに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」(B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2 学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」(B鑑賞) 「作ってみよう ～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう ～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう ～いろいろな形をべたべた押し～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ

3 学 期	14	（知及技） 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。 （思判表力） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとするができる。 （学・人） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	（知・技） 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。 （思・判・表） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 （主学） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「筆で描いてみよう ～書き初め遊び～」（A表現）（B鑑賞）	・墨汁の匂いや部での感触を味わいながら、教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め遊び
				「粘土で遊ぼう ～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」（A表現）	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう ～ピリピリ・ひらひら～」（A表現）	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。 ・ちぎった紙で壁面画や造形物を制作する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。(小1段階) (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。(小1段階) (学・人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。(小1段階)		
------	---	--	--

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・歩行、散歩 ・ねがえりゴロゴロ ・簡単なゲーム（台風の目、玉入れ、しっぽ取りゲーム、風船バレー等）
		【知及技】 教師と一緒に体力テストを行うことができる。 【思判表力】 難しい課題は教師と一緒にどのようにやったらできるかを工夫し、取り組むことができる。 【学・人】 教師と一緒に、昨年の自分の記録と比較することができる。	【知・技】 教師と一緒に様々な体力テストを行おうとしている。 【思・判・表】 教師と一緒に工夫しながら、自分ができる範囲内で、体力テストの課題に取り組もうとしている。 【主学】 昨年の自分の記録と比較し、どれだけ成長したかを教師と一緒に分かち合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。 体力テスト（実技テスト）	「体力テスト」 A体づくり運動遊び	・握力、ひも引っ張り ・上体起こし ・長座体前屈 ・ソフトボール投げ ・50m走 ・立ち幅とび
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
2 学 期	30	【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走
3 学 期	14	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 2年（Ⅱ課程B） 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		2年			
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関する事】 ・身近な大人の存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。 【主として人との関わりに関する事】 ・友達存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関する事】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	「学校、だいすき」「いっしょってあったかいね」「みんなでやってみよう」「いのち探検隊」	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう ぶう ぶう」「あーそーば」「くつついた」「あめふりあつくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関する事】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関する事】 ・友達存在や集団の雰囲気気づき、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関する事】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関する事】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関する事】 ・友達の感情や集団の雰囲気を感知、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関する事】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
350		3 学年			自作教材・イラスト・写真等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 活動や体験の課程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 (学・人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	130	(知及技) ・簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 (思判表力) ・身近で簡単なきまりやマナーに気付くことができる。 (学・人) ・身近で簡単なきまりを守って行動しようとすることができる。	(知・技) ・簡単なきまりやマナーについて知ることができた。 (思・判・表) ・身近で簡単なきまりやマナーに気付くことができた。 (主学) ・身近で簡単なきまりを守って行動しようとすることができた。	・「マナーを守って行動しよう」 (ケ きまり)	・ 1 学期始業式 ・ 学部集会 ・ 新転入生を迎える会 ・ 春の遠足
		(知及技) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かる。 (思判表力) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、表現することができる。 (学・人) ・身近な生命や自然について、関心を持つことができる。	(知・技) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かった。 (思・判・表) ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、表現することができた。 (主学) ・身近な生命や自然について、関心を持つことができた。	・「植物を育てよう」 (サ 生命・自然)	・ 地震火災津波避難訓練 ・ 植物栽培（アサガオ、ひまわり、ゴーヤーなど）
		(知及技) ・簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 (思判表力) ・自分にできる手伝いを考え、見つけることができる。 (学・人) ・教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようすることができる。	(知・技) ・簡単な手伝いや仕事について知ることができた。 (思・判・表) ・自分にできる手伝いを考え、見つけることができた。 (主・学) ・教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようすることができた。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 (キ 手伝い・仕事)	・ 白保小学校交流会 ・ 不審者対策避難訓練 ・ 買い物学習
		(知及技) ・安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・安全や防災に関わる基本的な知識や技能を身につけ、表現することができる。 (学・人) ・日常生活の安全や防災に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。	(知・技) ・安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができた。 (思・判・表) ・安全や防災に関わる基本的な知識や技能を身につけ、表現することができた。 (主学) ・日常生活の安全や防災に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができた。	・「安全について考えてみよう」 (イ 安全)	・ 交通安全教室 ・ 1 学期終わりの学部集会 ・ 1 学期終業式

2 学 期	150	(知及技) ・簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びを工夫して行うことができる。 (学・人) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしようとする事ができた。	(知・技) ・簡単なきまりのある遊びについて知ることができた。 (思・判・表) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びを工夫して行うことができた。 (主学) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしようとする事ができた。	・「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 (エ 遊び)	・火災避難訓練 ・色々な遊び
		(知及技) ・身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをする事ができる。 (学・人) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事ができた。	(知・技) ・身近な人との接し方などについて知ることができた。 (思・判・表) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをする事ができた。 (主学) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事ができた。	・「気持ちを伝えよう」 (オ 人との関わり)	・勤労感謝に向けて ・宮良小学校交流会
		(知及技) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などの使い方を知ることができる。 (思判表力) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、絵で表したり言葉で伝えたりすることができる。 (学・人) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、自ら調べようとする事ができる。	(知・技) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などの使い方を知ることができた。 (思・判・表) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、絵で表したり言葉で伝えたりすることができた。 (主学) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、自ら調べようとする事ができた。	・「公共施設を知ろう」 (コ 社会の仕組みと公共施設)	・校外学習 ・クリスマス集会 ・2学期終業式
3 学 期	70	(知及技) ・簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力) ・自分にできる簡単な係活動について考えることができる。 (学・人) ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事ができる。	(知・技) ・簡単な係活動などの役割について知ることができた。 (思・判・表) ・自分にできる簡単な係活動について考えることができた。 (主学) ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事ができた。	・「友達と一緒にやってみよう」 (カ 役割)	・八特祭
		(知及技) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人) ・買い物学習をする時に、自ら教師に援助を求めることができる。	(知・技) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の扱い方などを知ることができた。 (思・判・表) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の大切さや必要性について気付くことができた。 (主学) ・買い物学習をする時に、自ら教師に援助を求めることができた。	・「お金の大切さを考えよう」 (ク 金銭の扱い)	・買い物学習 ・あおぞら会役員選挙
		(知及技) ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・必要な身辺処理を、学校生活において習慣化することができる。 (学・人) ・必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事ができる。	(知・技) ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができた。 (思・判・表) ・必要な身辺処理を、学校生活において習慣化することができた。 (主学) ・必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事ができた。	・「身の回りを整理しよう」 (ア 基本的生活習慣)	・教室や身の回りの整理整頓

年間を通して	—	(知及技) ・身近な日課・予定について知ることができる。 ・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力) ・絵や写真カードを手掛かりに、次に何を行うのか確認し、見通しを持って行動することができる。 ・実験などを通して、身近にあるものの仕組みや働きが分かる。 (学・人) ・身近な日課・予定が分かり、日課に沿って行動しようとするができる。 ・身近にあるものの仕組みや働きを表現しようとするができる。	(知・技) ・身近な日課・予定について知ることができた。 ・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができた。 (思・判・表) ・絵や写真カードを手掛かりに、次に何を行うのか確認し、見通しを持って行動することができた。 ・実験などを通して、身近にあるものの仕組みや働きが分かった。 (主学) ・身近な日課・予定が分かり、日課に沿って行動しようとするができた。 ・身近にあるものの仕組みや働きを表現しようとするができた。	・「見通しのある毎日の生活」 (ウ 日課・予定) ・「見えないもののしくみを知ろう」 (シ ものの仕組みと働き)	・朝の会 ・物の不思議
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	3 学年		こくご☆☆ 自作教材・絵本・映像教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。			
		(思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。			
		(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	65	(知及技) 場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をすることができる。 (思判表力) 事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人) 学習したやりとりを実際の生活場面で表現することができる。	(知・技) 場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をしようとしている。 (思・判・表) 事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学) 学習したやりとりを実際の生活場面で表現しようとしている。	「学校のことを話そう」 (A 聞くこと・話すこと) 学校生活、朝の会、係	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。【ア- (ア)】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A- (ア)】
		(知及技) 身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぶことができる。 (思判表力) 絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現することができる。 (学・人) 文字に親しみを持ち、絵本や身の回りの文字に興味を持つことができる。	(知・技) 身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぶようとしている。 (思・判・表) 絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現しようとしている。 (主学) 文字に親しみを持ち、絵本や身の回りの文字に興味を持とうとしている。	「ものの名前を学ぶ」 (C 読むこと) なまえなあんだ 自分の名前、友達の名前、動物、乗り物、野菜、顔、体、影絵 「標識をさがそう」 (C 読むこと) しるしをみつけよう	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア- (イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C- ア】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ- (エ)】 ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付く、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。【C- ウ】
		(知及技) 様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付くことができる。 (思判表力) 思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現することができる。 (学・人) 相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合うことができる。	(知・技) 様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付くようとしている。 (思・判・表) 思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現しようとしている。 (主学) 相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合おうとしている。	「相手の気持ちを考えよう」 (A 聞くこと・話すこと) どんな気持ちかな ・プレゼント ・ころんだ ・日常生活の中で	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。【ア- (ア)】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A- ウ】
		(知及技) いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書くことができる。 (思判表力) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人) 書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加することができる。	(知・技) いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書くようとしている。 (思・判・表) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加しようとしている。	「正しい姿勢、いろいろな線の運筆に親しむ」 (B 書くこと) かいてみよう 「なかま集め」 (A 聞くこと・話すこと) (B 書くこと) あつめてみよう	・いろいろな筆記用具を用いて、書くことに親しむこと。【イ- (ウ) ㊦】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ- (ウ) ㊦】 ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。【B- イ】 ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア- (ウ)】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A- ウ】

2 学期	75	(知及技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力)好きな台詞や場面を見つげたり、自分なりの方法で表したりすることができる。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)好きな台詞や場面を見つげたり、自分なりの方法で表したりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	「絵から想像して話してみよう」 (A 聞くこと・話すこと) 「本に親しもう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) 「お話を演じてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話集会に向けて	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【A- (ウ)】 ・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。【A- (イ)】 ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ- (ア)】 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。【イ- (イ)】 ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。【A-エ】
		(知及技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぶことができる。 (思判表力)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとする。	(知・技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぶことができる。 (思・判・表)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとしている。	「文の構成」 (A 聞くこと・話すこと) (B 書くこと) くわしくはなそう ・色、反対言葉、だれのものに、なにをするのかな	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【A- (ウ)】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A- (ア)】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 (B 書くこと) (C 読むこと) 平仮名を読んでみよう ・ごじゅうおん、てんてん、にているもじ ・年賀状	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【A- (イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】
3 学期	35	(知及技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力)物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表することができる。 (学・人)役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをすることができる。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表しようとしている。 (主学)役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをしようとしている。	「お話をしてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) 絵本、劇 一年の抱負	・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ- (ア)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ- (エ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。【C-イ】 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 (B 書くこと) (C 読むこと) 平仮名を読んでみよう ・縦書き、横書き ・カード、手紙 「てがみをかこう」 (B 書くこと) (C 読むこと) 先生へ、友達へ、家族へ	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【A- (イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ- (ウ) ④】 ・経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	3 学年		算数☆☆ 自作教材・絵本・映像教材等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 （思判表力）身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 （学・人）数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4	39	A 数と計算 （知及技） 10までの数の概念や表し方が分かる。 （思判表力） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する。 （学・人） 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 10までの数の概念や表し方が分かるようにする。 （思・判・表） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現しようとする。 （主・学） 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	「かぞえよう・くらべよう」 （A 数と計算） 10までの数の数え方や表し方、構成	ア 10までの数の数え方や表し方、構成 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ものともとの対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること。 ① ものの集まりと対応して、数詞が分かること。 ② ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 ④ 個数を正しく数えたり書き表したりすること。 ⑧ 二つの数を比べて数の大小が分かること。 ② 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。 ④ 0の意味について分かること。 ② 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。 ⑦ 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。 ③ 10の補数が分かること。 （イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。
5				「なんばんめ」 （A 数と計算） 順序、位置	ア ものの分類 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 色や形、大きさに着目して分類すること。 ① 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。 （イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。
6				「あわせていくつ」 （A 数と計算） 10までの数の合成・分解	
7	45	B 図形 （知及技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりする。 （思判表力） 身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く。 （学・人） 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりしようとする。 （思・判・表） 身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付こうとする。 （主・学） 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	「なかまわけをしよう」 （B 図形） たべるもの、着るものなど	イ 身の回りにあるものの形 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ること。 ④ 縦や横の線、十字、△や□をかくこと。 ② 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。 （イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。
9				「まる・さんかく・しかく」 （B 図形） 身の回りにあるものの形	
10				「形をつくろう」 （B 図形） 見本通りに	

11		C 測定 (知及技) 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かる。 (思判表力) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	(知・技) 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かる。 (思・判・表) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かる。 (主・学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じようとする。	「くらべてみよう」 (C 測定) 長短、軽重、高低、広狭	ア 二つの量の大きさ (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。 ④ 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること。 ⑦ 長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすること。
12				「長い順・大きい順」 (C 測定) くらべる、ならべる	
1	21	D データの活用 (知及技) ものともとの対応させることで、ものの同等や多少が分かる。 (思判表力) 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現する。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	(知・技) ものともとの対応させることで、ものの同等や多少が分かる。 (思・判・表) 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現しようとする。 (主・学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じるようとする。	「組になるもの」 (D データの活用) 仲間同士の対応	ア ものの分類 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること。 イ 同等と多少 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ものともとの対応させることによって、ものの同等や多少が分かること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること。 ウ ○×を用いた表 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。 ④ 簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現すること。
2				「ゲーム・得点を数えよう」 (D データの活用) 同等、多少	
3				「ゲームをしよう～得点表～」 (D データの活用) ○と×を用いた表	
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3 学年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小2段階) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。(小2段階)
------	---

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学・人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思・判・表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (APT) 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌 (春の小川等) 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・春に関する曲
		(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (APT) 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌 (こいのぼり等) 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲
		(知及技) 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学・人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思・判・表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌 (月桃等) ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・カステネット 【鑑賞・共通事項】 ・6月にちなんだ曲
		(知及技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学・人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌 (ヤッホッホ夏休み等) 【器楽・共通事項】 ・カステネット 【鑑賞・共通事項】 ・7月にちなんだ曲
		(知及技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学・人) 郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) ・校歌ダンス (運動会用) 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌 (つき等) 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・9月にちなんだ曲

2 学 期	30	(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力) 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学・人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・10月にちなんだ曲
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学・人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（小） 【鑑賞・共通事項】 ・11月にちなんだ曲
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学・人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（大） 【鑑賞・共通事項】 ・12月にちなんだ曲
3 学 期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとすることができる。 (学・人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思・判・表) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・1月にちなんだ曲
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学・人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・2月にちなんだ曲
		(知及技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（ありがとうさようなら等） 【器楽・共通事項】 ・児童の好きな楽器（タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴、太鼓） 【鑑賞・共通事項】 ・3月にちなんだ曲
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3 学年		自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(小2段階) (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。(小2段階) (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・読書感想画	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
				「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ	
				「つくってみよう」 ・季節の製作 ・母の日・父の日プレゼント	
				「みてみよう」 ・鑑賞	
2 学期	30	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
				「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土	
				「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント	
				「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	
3 学期	14	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
				「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集	
				「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小2段階） （思判表力）遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小2段階） （学・人）遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	26	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム ・台風の目 ・大玉転がし ・玉入れ ・風船バレー ・しっぽ取りゲーム ・かけっこ ・サーキット - 等
5月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム ・台風の目 ・大玉転がし ・玉入れ ・風船バレー ・しっぽ取りゲーム ・かけっこ ・サーキット - 等
6月		（知及技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 （思判表力） 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 （学・人） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	（知・技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとしることができる。 （思・判・表） 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 （主学） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・パプリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
7月				「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	

9月	30	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使つての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
10月				「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	
11月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
12月				「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	
1月	14	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

3月	【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して	(知及技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等	・ (A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・ (F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・ (G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・ 単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35時間		3 学年			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技） 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 （思判表力） 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 （学・人） 意欲的に活動に参加する。	（知及技） 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 （学・人） 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】
				「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	
2 学期	15	（知及技） 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 （思判表力） 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 （学・人） 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	（知及技） 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 （思判表力） 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 （学・人） 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】
				「外国の文化についてしろろ」 ・ハロウィン	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】
				「ゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「外国の文化についてしろろ」 ・クリスマス	
3 学期	7	（知及技） 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 （思判表力） 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 （学・人） 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	（知及技） 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 （思判表力） 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 （学・人） 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】
				「お店ごっこをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「一年間のまとめをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		3 学年			自作教材、絵本、絵カード等
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね	・学級開き ・新転入生を迎える会
		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・いろいろな挨拶 【C家庭生活の充実】 ・家族	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。 ・日頃お世話になっている人々に感謝しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・わがままをしない 【B感謝】 ・日頃お世話になっている人	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・うそをついたりごまかしをしたりしない、素直に伸び生活しようとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 正直、誠実】 ・いつも素直に 【A希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・自分のことは自分で
	15	・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。 ・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 友情、信頼】 ・友達と仲よく 【C規則の尊重】 ・きまりを守って	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・生命がもつ力	・けがをしたとき ・防災について

2 学 期		・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。 ・働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 自然愛護】 ・自然の中で 【C 公共の尊重】 ・働くことのよさ	・草花の栽培、観察 ・当番の役割 ・色々な職業
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで 【B親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・良いこと、悪いこと
3 学 期	7	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 個性の伸長】 ・よいところを見つけよう ・すきなものを見つけよう	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・自ら働くことのよさや楽しさについて考え、すすんでみんなのために働こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 勤労・公共の精神】 ・楽しく働く	・自分の役割
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年 間 を 通 し て		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ①誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年 (Ⅱ課程A) 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3 学年		自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を定める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和5年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期始業式、終業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	3学年		自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	65	(知及技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 (ア基本的な生活習慣) 「どんな一日？」 (カ日課・予定)	・簡単な身辺処理を教師と一緒にやる。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
		(知及技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 (エ遊び) 「自然に触れよう」 (サ生命・自然)	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
		(知及技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 (思判表力) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 (思・判・表) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 (ケきまり)	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
		(知及技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。

2 学期	75	（知及技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 （思判表力）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 （力役割）	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にしたりする。
		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物しようとする。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
3 学期	35	（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
		（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり、地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。

		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒にいたり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。
年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようすることができる。	（知・技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化に触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3 学年		絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。(小1段階) (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。(小1段階) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技)呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。(イ 我が国の言語文化 (ア) (エ) (思判表力)身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A 聞くこと・話すこと アイ) (C 読むこと イ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。(思・判・表)身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。(主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。(評価資料)活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「学校だいすき」 (A聞くこと・話すこと) 「いろいろな言葉」 (A聞くこと・話すこと)	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。(知及技に関する活動) ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごししながら、教師の言葉に耳を傾ける。(思判表力に関する活動)
2 学期	15	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる。(イ 我が国の言語文化 (イ)) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ 我が国の言語文化 (ウ)) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。(A 聞くこと・話すこと ア) (C 読むこと アウエ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対して、言葉が結びついているか。(思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。(主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「やりとりを楽しもう」 (A聞くこと・話すこと C読むこと) 「言葉で遊ぼう」 (A聞くこと・話すこと)	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ(知及技に関する活動) ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。(思判表力に関する活動)
3 学期	7	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じるができる。(ア 言葉の特徴 (ア)) (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。(A 聞くこと・話すこと ウ) 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。(B 書くこと アイ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。(思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。(主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「つたえよう」 (A聞くこと・話すこと) 「絵本だいすき」 (A聞くこと・話すこと)	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。(知及技に関する活動) ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。(思・判・表) ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。(思・判・表)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3 学年		絵本・パズル・具体物等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 （思判表力）日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	（知及技） ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものともとのを対応させて配ることができる。 （思判表力） ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものともとのとを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 （学・人） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	（知・技） ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものともとのを対応させて配ろうとしている。 （思・判・表） ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものともとのとを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 （主学） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものともとのの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・プットイン教材 ・ソフト積み木
2 学期	15	（知及技） ・教師と一緒に5までの範囲を数唱することができる。 （思判表力） ・数詞ともとの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かすことができる。 （学・人） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	（知・技） ・教師と一緒に5までの範囲を数唱しようとしている。 （思・判・表） ・数詞ともとの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 （主学） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3 学期	7	（知及技） ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 （思判表力） ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。 （学・人） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	（知・技） ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 （思・判・表） ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもとうとしている。 （主学） ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3 学年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小1段階) (学・人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものになろうとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして3拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ・校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第5	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクトンマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様

2 学 期	30	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	(知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」(音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・3びきのやぎのがらがらどん	・セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。
				「からだを動かそう」(音) ・おばけなんてないさ ・おやつたーべよ ・パスごっこ 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったパスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」(音) ・きらきらぼし 「むかいあつたのしくあそぼう」(音) ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」(音) ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・あわてんぼうのサンタクロース	・季節の曲を楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3 学 期	14	(知及技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思判表力) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (学・人) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	(知・技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (主学) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」(音) ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」(音) ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」(音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・はらべこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。

				「歌って踊って」(音) ・ちえっちえっこり 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、 自分なりの楽しさを見 つけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして 楽しくダンスをする。また、曲に合わせて 自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲 に合わせて1年間でがんばったこと成長し たことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3 学年		自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人) 表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。
------	--

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしてすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむようとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせでお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう ～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」(B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2 学 期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」(B鑑賞) 「作ってみよう ～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう ～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう ～いろいろな形をべたべた押し～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ

3 学 期	14	(知及技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。	(知・技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。	「筆で描いてみよう ～書き初め遊び～」(A表現)(B鑑賞)	・墨汁の匂いや部での感触を味わいながら、教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め遊び
		(思判表力) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとするができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「粘土で遊ぼう ～いろいろな粘土(油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など)～」(A表現)	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう ～ピリピリ・ひらひら～」(A表現)	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。 ・ちぎった紙で壁面画や造形物を制作する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。（小1段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。（小1段階） (学・人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。（小1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サーキット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム ※上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
2 学 期	30	【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走
3 学 期	14	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・（A 体づくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部 全学年（Ⅱ課程B） 外国語 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		3 学年			
年間目標		(1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 (思弁表力) 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 (学・人) 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	(知及技) 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思弁表力) 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 (学・人) 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。 【(1)イ(7)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。 【(1)イ(4)】 Halloween Christmas valentine's day など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。 【(3)①ア(4)】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜 など
2 学期	15			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(4)】 Color tag (色鬼) など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」
				「一年間のまとめをしよう」
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		3 学年			自作教材、絵本、絵カード等
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	「学校、だいすき」 「いっしょってあったかいね」 「みんなでやってみよう」 「いのち探検隊」	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう ぶう ぶう」「あーそーぼ」「くつついた」「あめふりあつくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2 学 期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在や集団の雰囲気を感じ、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3 学 期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の感情や集団の雰囲気を感じ、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれしいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部3年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3 学年		自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知・技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和5年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期始業式、終業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
350		4 年			自作教材・絵本・動画教材等
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）活動や体験の課程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 （思判表力）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。 （学・人）自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	130	（知及技） ・簡単なきまりやマナーについて知ることができる。 （思判表力） ・身近で簡単なきまりやマナーに気付くことができる。 （学・人） ・身近で簡単なきまりを守って行動しようとすることができる。	（知・技） ・簡単なきまりやマナーについて知ることができた。 （思・判・表） ・身近で簡単なきまりやマナーに気付くことができた。 （主学） ・身近で簡単なきまりを守って行動しようとするこができた。	・「マナーを守って行動しよう」 （ケ きまり）	・ 1 学期始業式 ・ 学部集会 ・ 新転入生を迎える会 ・ 春の遠足
		（知及技） ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かる。 （思判表力） ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、表現することができる。 （学・人） ・身近な生命や自然について、関心を持つことができる。	（知・技） ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かった。 （思・判・表） ・身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、表現することができる。 （主学） ・身近な生命や自然について、関心を持つこができた。	・「植物を育てよう」 （サ 生命・自然）	・ 地震火災津波避難訓練 ・ 植物栽培（アサガオ、ひまわり、ゴーヤーなど）
		（知及技） ・簡単な手伝いや仕事について知ることができる。 （思判表力） ・自分にできる手伝いを考え、見つけることができる。 （学・人） ・教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとするこができた。	（知・技） ・簡単な手伝いや仕事について知ることができた。 （思・判・表） ・自分にできる手伝いを考え、見つけるこができた。 （主・学） ・教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとするこができた。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 （キ 手伝い・仕事）	・ 白保小学校交流会 ・ 不審者対策避難訓練 ・ 買い物学習
		（知及技） ・安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるこができた。 （思判表力） ・安全や防災に関わる基本的な知識や技能を身につけ、表現することができる。 （学・人） ・日常生活の安全や防災に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。	（知・技） ・安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けるこができた。 （思・判・表） ・安全や防災に関わる基本的な知識や技能を身につけ、表現することができた。 （主学） ・日常生活の安全や防災に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができた。	・「安全について考えてみよう」 （イ 安全）	・ 交通安全教室 ・ 1 学期終わりの学部集会 ・ 1 学期終業式

2 学 期	150	(知及技) ・簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。 (思判表力) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びを工夫して行うことができる。 (学・人) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしようとする事ができた。	(知・技) ・簡単なきまりのある遊びについて知ることができた。 (思・判・表) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びを工夫して行うことができた。 (主学) ・身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしようとする事ができた。	・「ルールを考えて一緒に遊ぼう」 (エ 遊び)	・火災避難訓練 ・色々な遊び
		(知及技) ・身近な人との接し方などについて知ることができる。 (思判表力) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをする事ができる。 (学・人) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事ができた。	(知・技) ・身近な人との接し方などについて知ることができた。 (思・判・表) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをする事ができた。 (主学) ・身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事ができた。	・「気持ちを伝えよう」 (オ 人との関わり)	・勤労感謝に向けて ・宮良小学校交流会
		(知及技) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などの使い方を知ることができる。 (思判表力) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、絵で表したり言葉で伝えたりすることができる。 (学・人) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、自ら調べようとする事ができる。	(知・技) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などの使い方を知ることができた。 (思・判・表) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、絵で表したり言葉で伝えたりすることができた。 (主学) ・自分の住んでいる地域の仕組みや公共施設などについて、自ら調べようとする事ができた。	・「公共施設を知ろう」 (コ 社会の仕組みと公共施設)	・校外学習 ・クリスマス集会 ・2学期終業式
3 学 期	70	(知及技) ・簡単な係活動などの役割について知ることができる。 (思判表力) ・自分にできる簡単な係活動について考えることができる。 (学・人) ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事ができる。	(知・技) ・簡単な係活動などの役割について知ることができた。 (思・判・表) ・自分にできる簡単な係活動について考えることができた。 (主学) ・身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとする事ができた。	・「友達と一緒にやってみよう」 (カ 役割)	・八特祭
		(知及技) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人) ・買い物学習をする時に、自ら教師に援助を求めることができる。	(知・技) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の扱い方などを知ることができた。 (思・判・表) ・事前学習や買い物学習などを通して、金銭の大切さや必要性について気付くことができた。 (主学) ・買い物学習をする時に、自ら教師に援助を求めることができた。	・「お金の大切さを考えよう」 (ク 金銭の扱い)	・買い物学習 ・あおぞら会役員選挙
		(知及技) ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・必要な身辺処理を、学校生活において習慣化することができる。 (学・人) ・必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事ができる。	(知・技) ・身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができた。 (思・判・表) ・必要な身辺処理を、学校生活において習慣化することができた。 (主学) ・必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする事ができた。	・「身の回りを整理しよう」 (ア 基本的生活習慣)	・教室や身の回りの整理整頓

年間を通して	—	(知及技) ・身近な日課・予定について知ることができる。 ・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 (思判表力) ・絵や写真カードを手掛かりに、次に何を行うのか確認し、見通しを持って行動することができる。 ・実験などを通して、身近にあるものの仕組みや働きが分かる。 (学・人) ・身近な日課・予定が分かり、日課に沿って行動しようとするができる。 ・身近にあるものの仕組みや働きを表現しようとするができる。	(知・技) ・身近な日課・予定について知ることができた。 ・身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができた。 (思・判・表) ・絵や写真カードを手掛かりに、次に何を行うのか確認し、見通しを持って行動することができた。 ・実験などを通して、身近にあるものの仕組みや働きが分かった。 (主学) ・身近な日課・予定が分かり、日課に沿って行動しようとするができた。 ・身近にあるものの仕組みや働きを表現しようとするができた。	・「見通しのある毎日の生活」 (ウ 日課・予定) ・「見えないもののしくみを知ろう」 (シ ものの仕組みと働き)	・朝の会 ・物の不思議
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	4年		ゆっくり学ぶ子のための「こくご」 入門編2（改訂版）（ひらがなの読み書き）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 （思判表力）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	65	（知及技）場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をすることができる。 （思判表力）事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。 （学・人）学習したやりとりを実際の生活場面で表現することができる。	（知・技）場面にあった挨拶について知り、適切な挨拶をしようとしている。 （思・判・表）事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 （主学）学習したやりとりを実際の生活場面で表現しようとしている。	「学校のことを話そう」 （A 聞くこと・話すこと） 学校生活、朝の会、係	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。【ア-（ア）】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A-（ア）】
		（知及技）身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぶことができる。 （思判表力）絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現することができる。 （学・人）文字に親しみをもち、絵本や身の回りの文字に興味を持つことができる。	（知・技）身近な物に名前があることを知り、多くの物の名称を学ぼうとしている。 （思・判・表）絵本などを見て、登場する物や動作などを思い浮かべ、自分なりに表現しようとしている。 （主学）文字に親しみをもち、絵本や身の回りの文字に興味を持とうとしている。	「ものの名前を学ぶ」 （C 読むこと） なまえなあんだ 自分の名前、友達の名前、動物、乗り物、野菜、顔、体、影絵 「標識をさがそう」 （C 読むこと） しるしをみつけよう	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【ア-（イ）】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ-（エ）】 ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気づき、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。【C-ウ】
		（知及技）様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付くことができる。 （思判表力）思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現することができる。 （学・人）相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合うことができる。	（知・技）様々な状況や気持ちを表す言葉に触れ、気持ちと表情の関連について気付くことができる。 （思・判・表）思ったことや感じたことなどを、自分なりに表現しようとしている。 （主学）相手と思いを共有する喜びを感じ、思いを伝え合うことができる。	「相手の気持ちを考えよう」 （A 聞くこと・話すこと） どんな気持ちかな ・プレゼント ・ころんだ ・日常生活の中で	・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。【ア-（ア）】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A-ウ】
		（知及技）いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書くことができる。 （思判表力）経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 （学・人）書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加することができる。	（知・技）いろいろな線をなぞったり、真似たりしながら線や形を書こうとしている。 （思・判・表）経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 （主学）書いて表現することの良さを感じ、意欲的に学習に参加しようとしている。	「正しい姿勢、いろいろな線の運筆に親しむ」 （B 書くこと） かいてみよう 「なかま集め」 （A 聞くこと・話すこと）（B 書くこと） あつめてみよう	・いろいろな筆記用具を用いて、書くことに親しむこと。【イ-（ウ）⑦】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ-（ウ）⑧】 ・自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。【B-イ】 ・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【ア-（ウ）】 ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。【A-ウ】

2 学期	75	(知及技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力)好きな台詞や場面を見つげたり、自分なりの方法で表したりすることができる。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)好きな台詞や場面を見つげたり、自分なりの方法で表したりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	「絵から想像して話してみよう」 (A 聞くこと・話すこと) 「本に親しもう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) 「お話を演じてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) お話集会に向けて	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【A- (ウ)】 ・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。【A- (イ)】 ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ- (ア)】 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。【イ- (イ)】 ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。【A-エ】
		(知及技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぶことができる。 (思判表力)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとする。	(知・技)動詞や形容詞などに触れ、言葉の意味を学ぶことができる。 (思・判・表)事柄と語句を結びつけたり、語句から事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)詳しく表現することで相手に伝わる楽しさを感じ、表現してみようとしている。	「文の構成」 (A 聞くこと・話すこと) (B 書くこと) くわしくはなそう ・色、反対言葉、だれのものに、なにをするのかな	・身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。【A- (ウ)】 ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。【A- (ア)】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 (B 書くこと) (C 読むこと) 平仮名を読んでみよう ・ごじゅうおん、てんてん、にているもじ ・年賀状	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【A- (イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】
3 学期	35	(知及技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりすることができる。 (思判表力)物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表することができる。 (学・人)役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをすることができる。	(知・技)登場人物や時間の流れによる話の展開に意識して、話を見たり聞いたりしようとしている。 (思・判・表)物語の展開を思い出したり想像したりしながら、自分の考えたことを発表しようとしている。 (主学)役になりきって台詞を読んだり言ったりして、友達と掛け合いをしようとしている。	「お話をしてみよう」 (A 聞くこと・話すこと) (C 読むこと) 絵本、劇 一年の抱負	・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。【イ- (ア)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【イ- (エ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。【C-イ】 ・絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。【C-エ】
		(知及技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりすることができる。 (思判表力)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	(知・技)文字で伝える良さに気付き、日常生活でよく使われている平仮名を読んだり書いたりしようとしている。 (思・判・表)経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学)自分の気持ちをなぞり書きや書くことなどにより、表現したり相手に伝えたりしてみようとしている。	「日常生活の言葉」 (B 書くこと) (C 読むこと) 平仮名を読んでみよう ・縦書き、横書き ・カード、手紙 「てがみをかこう」 (B 書くこと) (C 読むこと) 先生へ、友達へ、家族へ	・日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。【A- (イ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。【C-ア】 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きなど、書写の基本を身に付けること。【イ- (ウ) ④】 ・経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。【B-ア】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	4年		算数☆・算数☆☆・自作教材

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 （思判表力）身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 （学・人）数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4	39	A 数と計算 （知及技） 10までの数の概念や表し方が分かる。 （思判表力） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する。 （学・人） 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 10までの数の概念や表し方が分かるようにする。 （思・判・表） 日常生活の事象について、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現しようとする。 （主・学） 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	「かぞえよう・くらべよう」 （A 数と計算） 10までの数の数え方や表し方、構成	ア 10までの数の数え方や表し方、構成 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ものともとの対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること。 ① ものの集まりと対応して、数詞が分かること。 ② ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 ④ 個数を正しく数えたり書き表したりすること。 ④ 二つの数を比べて数の大きさが分かること。 ② 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。 ④ 0の意味について分かること。 ② 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。 ⑦ 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。 ③ 10の補数が分かること。 （イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。
5				「なんばんめ」 （A 数と計算） 順序、位置	ア ものの分類 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 色や形、大きさに着目して分類すること。 ① 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。 （イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。
6				「あわせていくつ」 （A 数と計算） 10までの数の合成・分解	
7	45	B 図形 （知及技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりする。 （思判表力） 身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付く。 （学・人） 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	（知・技） 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりしようとする。 （思・判・表） 身の回りのものの形に関心を持ち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付こうとする。 （主・学） 図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	「なかまわけをしよう」 （B 図形） たべるもの、着るものなど	イ 身の回りにあるものの形 （ア）次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や三角、四角という名称を知ること。 ① 縦や横の線、十字、△や□をかくこと。 ② 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。 （イ）次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。
9				「まる・さんかく・しかく」 （B 図形） 身の回りにあるものの形	
10				「形をつくろう」 （B 図形） 見本通りに	

11		C 測定 (知及技) 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かる。 (思判表力) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かる。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	(知・技) 身の回りにある具体物の量の大きさに着目し、量の大きさや違いが分かろうとする。 (思・判・表) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かろうとする。 (主・学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じようとする。	「くらべてみよう」 (C 測定) 長短、軽重、高低、広狭	ア 二つの量の大きさ (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。 ④ 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること。 ⑦ 長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすること。
12				「長い順・大きい順」 (C 測定) くらべる、ならべる	
1	21	D データの活用 (知及技) ものとももの対応させることで、ものの同等や多少が分かる。 (思判表力) 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現する。 (学・人) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じる。	(知・技) ものとももの対応させることで、ものの同等や多少が分かろうとする。 (思・判・表) 個数に着目し、表をみて多少を読み取って表現しようとする。 (主・学) 数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じるようとする。	「組になるもの」 (D データの活用) 仲間同士の対応	ア ものの分類 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること。 イ 同等と多少 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ ものとももの対応させることによって、ものの同等や多少が分かること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること。 ウ ○×を用いた表 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。 ④ 簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。 (イ) 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 ⑦ 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現すること。
2				「ゲーム・得点を数えよう」 (D データの活用) 同等、多少	
3				「ゲームをしよう～得点表～」 (D データの活用) ○と×を用いた表	
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		おんがく☆・おんがく☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小2段階) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学・人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思・判・表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「春を感じよう」 「歌で仲良しになろう」 「音を出してみよう」 「からだを動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・校歌 ・はるがきた 【器楽・共通事項】 ・どんぐりさんのおうち ・パンパン 【音楽づくり・共通事項】 ・お返しよう 【身体表現・共通事項】 ・ドラえもん ・口笛吹きと子犬 【鑑賞・共通事項】 ・こいのぼり
		(知及技) 器 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力) 鑑 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つようとしている。	「声を合わせて」 「打楽器にちょうせん」 「まねてみよう」 「耳をすませて」	【歌唱・共通事項】 ・かえるの合唱 ・ともだちになるために 【器楽・共通事項】 ・とけいのうた ・ぶんぶんぶん 【音楽づくり・共通事項】 ・かえるの音あそび 【身体表現・共通事項】 ・手をつなぎましょう ・まねっこどうぶつ 【鑑賞・共通事項】 ・いろんな音 ・おどるこねこ
		(知及技) 歌 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力) 音 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学・人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思・判・表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「交流会に向けて」 「音の高さを感じて」 「リズムにのって」 「ようすをおもいうかべて」	【歌唱・共通事項】 ・シャボン玉 ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・かえるの合唱 【音楽づくり・共通事項】 ・ペットボトルでメロディーづくり 【身体表現・共通事項】 ・はしの上で 【鑑賞・共通事項】 ・月桃 ・海の歌を歌おう

		(知及技) 音 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力) 身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学・人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「夏を感じよう」 「音の高さを感じて」 「声をききあおう」 「歌に合わせて身体を動かそう」	【歌唱・共通事項】 ・南の島のはめはめは大王 【器楽・共通事項】 ・きらきらぼし 【音楽づくり・共通事項】 ・なまえあそび 【身体表現・共通事項】 ・エビカニックス 【鑑賞・共通事項】 ・ほしにねがいを ・ヤッホッホ夏休み
		(知及技) 歌 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力) 器 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学・人) 郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「秋を感じよう」 「まつりを楽しもう」 「声を聞き合おう」 「拍を感じて」	【歌唱・共通事項】 ・やまびこごっこ ・ゆうやけこやけ 【器楽・共通事項】 ・エイサー ・マミードーマ、唐船ドーイ 【音楽づくり・共通事項】 ・やまびこあそび 【身体表現・共通事項】 ・たぬきのたいこ 【鑑賞・共通事項】 ・つき ・三線の音色を聞こう
		(知及技) 器 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力) 音 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学・人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「歌のまねっこで遊ぼう」 「ひびきあいを楽しもう」 「拍を感じて」 「音楽に合わせて身体を動かそう」 「物語の音楽を楽しもう」	【歌唱・共通事項】 ・カレライス 【器楽・共通事項】 ・虫のこえ 【音楽づくり・共通事項】 ・音あてあそび 【身体表現・共通事項】 ・きのこ 【鑑賞・共通事項】 ・おおきなかぶ ・シンコペーテッドクロック
2 学期	30	(知及技) 身 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力) 歌 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学・人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「みぶりをつけてみんなて歌おう」 「リズムで遊ぼう」 「拍を感じて」 「みんなでつながろう」 「耳をすまそう」	【歌唱・共通事項】 ・ふしぎなポケット 【器楽・共通事項】 ・おもちゃのチャチャチャ 【音楽づくり・共通事項】 ・口でいろんな音を出そう 【身体表現・共通事項】 ・かもつれっしや 【鑑賞・共通事項】 ・おもちゃの兵隊 ・ぼうがいっぱあったとき
		(知及技) 歌 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力) 器 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学・人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さに気付こうとしている。	「様子を思いうかべながら歌おう」 「リズムにのって音を出してみよう」 「音を当てよう」 「楽しくダンス」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・やぎさんゆうびん 【器楽・共通事項】 ・あわてんぼうのサンタクロース 【音楽づくり・共通事項】 ・音の出し方いろいろ 【身体表現・共通事項】 ・ハッピークリスマス ・こいぬのビンゴ 【鑑賞・共通事項】 ・サンタが町にやってくる

3 学 期		(知及技) 鑑 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力) 音 音遊びを通して音の面白さに気づき、自ら音や音楽で表現しようすることができる。 (学・人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけないようにしている。 (思・判・表) 音遊びを通して音の面白さに気づき、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「冬を感じよう」 「音を合わせて楽しもう」 「日本のしらべにのって」 「耳をすまして」	【歌唱・共通事項】 ・北風小僧の寒太郎 ・とんくるりんぱんくるりん 【器楽・共通事項】 ・ゆきのおどり 【音楽づくり・共通事項】 ・らくらく打楽器メロディ 【身体表現・共通事項】 ・はないちもんめ ・おちゃらかほい 【鑑賞・共通事項】 ・スケーターズワルツ
		(知及技) 歌 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力) 身 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学・人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「季節の雰囲気を感じよう」	【歌唱・共通事項】 ・てのひらをたひように ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・おにのパンツ ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・白鳥 ・うれしいひなまつり
	14	(知及技) 音 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力) 鑑 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「卒業式に向けて」 「音を合わせて楽しもう」 「いろんな音を見つけよう」 「曲に合わせて身体を動かそう」 「一年間を振り返ろう」	【歌唱・共通事項】 ・卒業式の歌 【器楽・共通事項】 ・とんくるりんぱんくるりん 【音楽づくり・共通事項】 ・ことばでリズム 【身体表現・共通事項】 ・双頭の鷲の旗の下で 【鑑賞・共通事項】 ・思い出のアルバム
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		あそびのおうさまBOOK はって

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(小2段階) (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。(小2段階) (学・人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・お父さん・お母さんの絵 ・遠足の思い出 ・読書感想画	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】 ・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】
				「やってみよう」 ・色で遊ぼう ・スタンプ	・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】
				「つくってみよう」 ・季節の製作 ・母の日・父の日プレゼント	
				「みてみよう」 ・鑑賞	
2学期	30	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「かいてみよう」 ・読書感想画	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】
				「やってみよう」 ・切ってつなげて ・粘土	・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】
				「つくってみよう」 ・季節の製作 ・紙版画 ・勤労感謝の日プレゼント	・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと。【共通事項（ア）】
				「みてみよう」 ・夏休み作品展 ・鑑賞	
3学期	14	(知及技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (学・人) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 形の面白さや色の違いに気づき、身近な材料や用具を使ってかいたり、形をつくったりすることができる。 (思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、みたことから表したいことを思い付き、表現することができる。 (主学) 表現や鑑賞の活動を通して、つくりだす楽しさや喜びに気づき、興味関心をもって学習に取り組むことができる。	「やってみよう」 ・並べて並べて	・材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと。【Aーア（ア）】
				「つくってみよう」 ・季節の製作 ・卒業式壁面・プレゼント ・作品集	・身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること。【Bーア（ア）】
				「みてみよう」 ・1年間の活動の振り返り ・鑑賞	・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。【共通事項（イ）】

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小2段階） (思判表力)遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小2段階） (学・人)遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
5月	26	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
6月		(知及技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 (思判表力) 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 (学・人) 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとしすることができる。 (思・判・表) 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 (主学) 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
7月				「水遊び・プール学習」 (D 水あそび)	

9月	30	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
10月				「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	
11月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
12月				「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	
1月	14	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

3月	【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して	(知及技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等	・ (A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・ (F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・ (G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・ 単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程A） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35時間		4年生			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 意欲的に活動に参加する。	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】
				「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	
2学期	15	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】
				「外国の文化についてしろろ」 ・ハロウィン	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】
				「ゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「外国の文化についてしろろ」 ・クリスマス	
3学期	7	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】
				「お店ごっこをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「一年間のまとめをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		4 年			絵本・動画教材等
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ・学校は楽しいね	・学級開き ・新転入生を迎える会
		・気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする心情を育てる。 ・父母を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・いろいろな挨拶 【C家庭生活の充実】 ・家族	・場に応じた挨拶 ・母の日、父の日 ・お手伝い
		・物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする態度を養う。 ・日頃お世話になっている人々に感謝しようとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・わがままをしない 【B感謝】 ・日頃お世話になっている人	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃
		・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする態度を養う。 ・自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 正直、誠実】 ・いつも素直に 【A希望と勇気、努力と強い意志】 ・自分の仕事	・自分のことは自分で
	15	・友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。 ・時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 友情、信頼】 ・友達と仲よく 【C規則の尊重】 ・きまりを守って	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に
		・生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・生命がもつ力	・けがをしたとき ・防災について

2 学 期		・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。 ・働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 自然愛護】 ・自然の中で 【C 公共の尊重】 ・働くことのよさ	・草花の栽培、観察 ・当番の役割 ・色々な職業
		・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいと思うことをすすんで 【B親切、思いやり】 ・温かい心で親切に	・良いこと、悪いこと
3 学 期	7	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 個性の伸長】 ・よいところを見つけよう ・すきなものを見つけよう	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・自ら働くことのよさや楽しさについて考え、すすんでみんなのために働こうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 勤労・公共の精神】 ・楽しく働く	・自分の役割
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、卒業生へ、先生へ
年 間 を 通 し て		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ①誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ②草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 4年 (Ⅱ課程A) 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	4年		自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を定める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和5年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期始業式、終業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	4年		絵本・教育動画等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	65	(知及技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 (ア基本的な生活習慣) 「どんな一日？」 (カ日課・予定)	・簡単な身辺処理を教師と一緒にやる。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
		(知及技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 (エ遊び) 「自然に触れよう」 (サ生命・自然)	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
		(知及技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 (思判表力) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 (思・判・表) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 (ケきまり)	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
		(知及技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。

2 学期	75	（知及技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 （思判表力）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 （思・判・表）身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 （力役割）	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にしたりする。
		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気付き、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを感じて表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物しようとする。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
3 学期	35	（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気付き、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
		（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒に行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり、地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。

		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒にいたり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。
年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようすることができる。	（知・技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化に触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		絵本・パネルシアター等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。(小1段階) (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。(小1段階) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。(ア言葉の特徴(イ))(イ我が国の言語文化(ア)(エ)) (思判表力)身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A聞くこと・話すこと アイ)(C読むこと イ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 (思・判・表)身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 (評価資料)活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「学校だいすき」 (A聞くこと・話すこと) 「いろいろな言葉」 (A聞くこと・話すこと)	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。(知及技に関する活動) ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごしながら、教師の言葉に耳を傾ける。(思判表力に関する活動)
2学期	30	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる(イ 我が国の言語文化(イ)) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ 我が国の言語文化(ウ)) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。 (A聞くこと・話すこと ア)(C読むこと アウエ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 (思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「やりとりを楽しもう」 (A聞くこと・話すこと C読むこと) 「言葉で遊ぼう」 (A聞くこと・話すこと)	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ(知及技に関する活動) ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。(思判表力に関する活動)
3学期	14	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じることができる。(ア言葉の特徴(ア)) (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。(A聞くこと・話すこと ウ) 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。(B書くこと アイ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 (思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「つたえよう」 (A聞くこと・話すこと) 「絵本だいすき」 (A聞くこと・話すこと)	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。(知及技に関する活動) ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。(思・判・表) ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。(思・判・表)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		絵本・パズル・具体物等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・明確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を理解しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
------	--	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものともとのを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものともとのを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものともとのを対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものともとのを関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものともとの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・ブットイン教材 ・ソフト積み木
2学期	30	(知及技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞ともとの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞ともとの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気付き、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験ををする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	14	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気付き、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。（小1段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。（小1段階） (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。（小1段階）
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) ・音や音楽に気付き、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして3拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ・校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑)	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすののって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第5	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様

2 学 期	30	(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	(知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」(音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・3びきのやぎのがらがらどん	・セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。
				「からだを動かそう」(音) ・おぼけなんてないさ ・おやつたーべよ	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。
				「楽器をならそう」(音) ・きらきらぼし 「むかいあつたのしくあそぼう」(音) ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」(音) ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・あわてんぼうのサンタクロース	・季節の曲を楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3 学 期	14	(知及技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思判表力) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (学・人) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	(知・技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (主学) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」(音) ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」(音) ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」(音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。
				「歌って踊って」(音) ・ちえっちえっこり 「卒業式に向けて」(音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて1年間ががんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		用具（ハサミ、ペン、のり、彫刻刀など） 材料（紙、粘土、絵の具、布、小麦粉、自然物など） 説明用視覚教材 など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人) 表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしてすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむようとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせでお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう ～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができくことに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」(B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」(B鑑賞) 「作ってみよう ～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう ～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう ～いろいろな形をべたべた押し～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ

3 学 期	14	（知及技） 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。 （思判表力） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとするができる。 （学・人） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	（知・技） 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。 （思・判・表） 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 （主学） ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気づき、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「筆で描いてみよう ～書き初め遊び～」（A表現）（B鑑賞）	・墨汁の匂いや部での感触を味わいながら、教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め遊び
				「粘土で遊ぼう ～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」（A表現）	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう ～ピリピリ・ひらひら～」（A表現）	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。 ・ちぎった紙で壁面画や造形物を制作する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。(小1段階) (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。(小1段階) (学・人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。(小1段階)		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 教師と一緒に体力テストを行うことができる。 【思判表力】 難しい課題は教師と一緒にどのようにやったらできるかを工夫し、取り組むことができる。 【学・人】 教師と一緒に、昨年の自分の記録と比較することができる。	【知・技】 教師と一緒に様々な体力テストを行おうとしている。 【思・判・表】 教師と一緒に工夫しながら、自分ができる範囲内で、体力テストの課題に取り組もうとしている。 【主学】 昨年の自分の記録と比較し、どれだけ成長したかを教師と一緒に分かち合おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。 体力テスト（実技テスト）	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム ※上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
2 学期	30	【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走
3 学 期	14	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程A） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35時間		4年生			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 意欲的に活動に参加する。	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】
				「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	
2学期	15	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】
				「外国の文化についてしよう」 ・ハロウィン	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】
				「ゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「外国の文化についてしよう」 ・クリスマス	
3学期	7	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】
				「お店ごっこをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「一年間のまとめをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		4年			教育動画等
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人の存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。 【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子がみられるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子がみられるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子がみられるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子がみられるか。	「学校、だいすき」 「いっしょってあったかいね」 「みんなでやってみよう」 「いのち探検隊」	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう ぶう ぶう」「あーそーば」「くつついた」「あめふりあつくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の存在や集団の雰囲気気づき、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子がみられるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子がみられるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子がみられるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の感情や集団の雰囲気を、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子がみられるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子がみられるか。集団の雰囲気を、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いがみられるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子がみられるか。教師の促しに喜んで応じている様子がみられるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部4年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	4年		自作教材・イラスト・写真等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流(・居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思・判・表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ることができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思・判・表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知・技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・生年者のこれまでの成長の記録を見聞きし、自分自身のことについて振り返ろうとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・生年祝い ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・生年祝いの運営 ・生年祝いに参加し、生年者とともに成長の喜びを感じる。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営をすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和5年度幼児児童生徒総会
2 学 期	2		・運動会テーマコール ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・運動会テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期始業式、終業式 ・身体測定 ・地震火災津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査を落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
280	5学年		自作教材・絵本・映像教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4 月	104	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・ 学部集会 ・ 新転入生を迎える会 ・ 春の遠足
5 月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「自分から進んで係活動しよう」	・ 地震津波、避難訓練 ・ 当番、係り、手伝い
6 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「安全について考えてみよう」 ・「お金の使い方を考えよう」	・ 白保小学校交流会 ・ 不審者対策避難訓練 ・ 買い物学習

7月	(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・交通安全教室 ・1学期終業式
9月	(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化に気づく。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「生き物や自然の特徴を知ろう」	・火災避難訓練 ・自然とのふれあい
10月	(知及技) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知及技) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「自分の役割に取り組もう」 ・「地域について調べよう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・運動会 ・社会見学 ・修学旅行
11月	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「マナーを守って行動しよう」 ・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」	・勤労感謝週間 ・修学旅行 ・宮良小・吉原小学校交流会

1 2 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・準備や片付けをして一緒に楽しもう。 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・クリスマス集会 ・2学期終業式
1 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「自分の役割に取り組もう」	・3学期はじめ学部集会 ・八特祭
2 月	56	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知ろう。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知ろうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・生き物や自然の特徴を知ろう。 ・「お金の使い方を考えよう」	・植物の収穫 ・交通機関の利用
3 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・卒業式 ・修了式 ・離任式
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	5学年		ゆっくり学ぶ子のためのこくご ／自作教材、絵本、ipad等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。 （思判表力）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。 （学・人）言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	78	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができる。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができる。	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができるようにする。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができるようにする。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話せるようにする。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができるようにする。	・役割をもって伝えてみよう ・話し合いをしよう ・お店の人に聞いてみよう ・ひらがなを読もう、書こう ・家の中でカタカナを探してみよう。 ・カタカナを書こう。	・自己紹介 ・係り、当番活動 ・新転入生の歓迎会 ・学級活動 ・遠足 ・買い物 ・文字の読み書き
2 学期	90	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができる。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができる。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができる。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができる。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をし文字や文を書くことができる。	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができるようにする。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができるようにする。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができるようにする。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができるようにする。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をし文字や文を書くことができるようにする。	・図書室に行ってみよう。 ・ひらがな、漢字を書いてみよう。 ・文を書こう。	・本を探す ・絵本の読み聞かせ ・日常生活に使われている漢字 ・年賀状作り

3 学 期	42	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができる。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができる。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができる。	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができるようにする。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができるようにする。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができるようにする。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができるようにする。	・ひらがな、漢字を書いてみよう ・推敲して発表しよう。	・書き初め ・一年間の振り返り ・手紙
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	5 学年		ゆっくり学ぶ子のためのさんすう ／自作教材、絵カード、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力」など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) 10をひとまとまりにして数える良さに気付くことができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えることができる。 (学・人) 生活の中から多い・少ないに関心をもつことができる。	(知・技) 10をひとまとまりにして数える良さに気付こうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えようとする。 (主学) 生活の中から多い・少ないに関心をもとうとする。	・10より大きい数。 (多い少ない、比べる言葉)	・数字を読んだり書いたりする。 ・次の数あて、前の数あて、逆の順で数詞を言ったり書いたりする。 ・友だちや教師の数を数えたり、学習の中で必要な数を数えたりする。 ・具体物と数詞を一対一対応する。 ・ゲームなどを通して、数比べをする。 ・生活の中から関連させ使えるようにする。
		(知及技) 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かし、具体物を操作したりする。 (思判表) 方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かし、人形等を操作することができる。 (学・人) 方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組むことができる。	(知・技) 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かし、具体物を操作しようとする。 (思・判・表) 方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かし、人形等を操作しようとする。 (主学) 方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組もうとする。	・位置を表す言葉（上と下、中と外、右と左）	・ゲームなどを通して前後、上下、左右、方向や位置の確認をする。
		(知及技) 合併や増加の意味を理解し、式に表すことができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 (学・人) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	(知・技) 合併や増加の意味を理解し、式に表そうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 (主学) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・足し算（10～20まで）	・具体物や半具体物を使い20までの数を合わせたり分けたりする操作を繰り返す行う。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		(知及技) 具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わしたりすることができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を使い、減法の式で考えることができる。 (学・人) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	(知・技) 具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わそうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を使い、減法の式で考えようとする。 (主・学) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・引き算（20まで）	・具体物や半具体物を使い20までの数の減法の操作を繰り返す行う。 ・簡単な文章問題を読み、式に表したり計算したりする。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		(知及技) 角の大きさや意味について基礎的な知識を理解することができる。 (思判表) ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気づき、具体物を操作することができる。 (学・人) 坂道と角度の関係について関心をもつことができる。	(知・技) 角の大きさや意味について基礎的な知識を理解しようとする。 (思・判・表) ・ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気づき、具体物を操作しようとする。 (主学) 坂道と角度の関係について関心をもとうとする。	・形をつくろう。（図形） ・坂道を作ろう（角を探し）	・丸、三角形、四角形等の簡単な形の学習をする。 ・積み木でいろいろな形をつくる。 ・ミニカーゲームを行う

2 学 期	60	（知及技）お金を数えることができる。 （思判表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つことができる。 （学・人）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行うことができる。	（知・技）お金を数えようとする。 （思・判・表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つようとする。 （主学）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行おうとする。	・買い物しよう。（お金を並べる、計算）	・具体物を使って、「何を、何個買う。」等の買い物学習をする。 ・買い物に必要な金額を計算する。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）かさを「コップ〇杯分」等の言葉で表したりすることができる。 （主・学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもつことができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）かさを「コップ〇杯分」等の言葉で表そうとする。 （主学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもとうとする。	・「かさ」をはかろう。（比べる、太さで比べる、広い狭いと遠い近い）	・かさを測る。 ・生活場面で、ものの大小、多少、長短、高低、重い軽い、広い狭い等、比較の学習をする。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べることができる。 （学・人）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えることができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べようとする。 （主学）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えようとする。	・くらべてみよう。（長い短い、長さ比べ、並べる、一番長いのは、うつして比べる、長さを測る、長さはいくつ分）	・いろいろな長さのペンやボールなど、身の回りにあるものを比べる。徐々に比較対象物の種類を増やす。
3 学 期	28	（知及技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読むことができる。 （思判表）日課表から、学校の生活の見通しをもつことができる。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読もうとする。 （思・判・表）日課表から、学校の生活の見通しを持とうとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心を持とうとする。	・時計の読み方。（学校の生活、長い針、短い針、何時でしょう、午前、午後、あさ、ひる、よる、昨日、今日、明日）	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味の学習をする。 ・調理学習を通して、タイマーを使用したり時計を利用したりする。
		（知及技）・動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べたりすることができる。 （思判表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求め （学・人）絵を描きながら答えを予想することができる。	（知・技）動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べようとする。 （思・判・表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求めようとする。 （主・学）絵を描きながら答えを予想しようとする。	・表や絵に表して計算しよう。（グラフ）	・玉入れやゲームの勝敗表、頑張り表やチェックカードの○×の記入をし、表の基礎の学習をする。
		（知及技）天気表に天気を記号で記入することができる。 （思判表）・週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入することができる。 （学・人）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づくことができる。	（知・技）天気表に天気を記号で記入しようとする。 （思・判・表）週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入しようとする。 （主学）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づこうとする。	・天気表を記録しよう。（天気、カレンダー、日にち、曜日、予定）	・天気表に晴、曇り、雨などの記号を分けて書いて、文字で書いたりする。どの天気が今月多かったなど、見比べる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年		自作教材、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などの違いに気づき、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとする。 (思判表力) 様々な材料や形、色に触れることで、表したいことを思い付いたり作品の面白さを感じたり広げたりすることができる。 (学・人) つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに触れあうことにより楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 (思判表) 正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 (学・人) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしている。 (主学) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 誕生表をつくろう。 学級目標をつくろう。 ・やってみよう 色で遊ぼう	「誕生表」「学級目標」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い誕生表や学級目標を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		(知及技) いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 (思判表) 正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 (学・人) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしている。 (主学) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 (遠足の思い出) ・作ってみよう。 道具の使い方 工作体験 (母の日)	「母の日のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「遠足の思い出」 ・マジックや絵の具、画用紙等を使って作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱など、いろいろな道具を使いおもちゃづくりをする。
		(知及技) いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 (思判表) 正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 (学・人) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 好きな容器を選び、形の組み合わせを楽しもうとしている。 (主学) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう (父の日) かたつむり	「父の日」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱やヤクルトヨーグルトの容器などを使い、かたつむりを作成することができる。
		(知及技) いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 (思判表) 正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 (学・人) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 形を組み合わせることによって、模様となったり、具体物になったりすることを知らずとしている。 (主学) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 (七夕) 丸、三角、四角でつくろう	「七夕飾り」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い七夕飾りを作成する。 「丸、三角、四角でつくろう」 ・ヤクルトの容器の裏やミルクの缶、お菓子の箱、などから形を見つけ型取りをしながら、形を楽しんで作成する。
		(知及技) いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 (思判表) 正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 (学・人) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	(知・技) 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 (思・判・表) 物語の好きな場面を選んで自分なりに表現しようとしている。 (主学) 自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 (敬老の日) 描いてみよう 読書感想画	「敬老の日プレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙や季節の草花等を使いプレゼントを作成する。 「読書感想画」 ・自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。

2 学期	30	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）はさみを正しく使い、自分の思うように切ることができる。 （学人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）人の顔には目や口、眉毛など様々なパーツがあることに気づき、自分の顔を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （読書感想画） つくってみよう 紙版画	「読書感想画」 自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。 「紙版画」 目や口、眉毛などのパーツを配り、顔や体、手、足などを自分で組み立て、好きな動きに作成していく。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）松ぼっくりや枝など、毛糸を巻く素材による印象の違いを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 ミノムシをつくろう （勤労感謝の日）	「勤労感謝のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「ミノムシをつくろう」 松ぼっくりや木の枝、毛糸などいろいろな道具を使い毛糸の巻いてミノムシを作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）サツマイモの柔らかさを生かし、切り口を彫るなどの工夫をすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな形を考え、形づくりを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （クリスマス飾り） ・イモ版画。 （年賀状作り）	「クリスマス飾り」 ・松ぼっくりや、毛糸、ハンガーなど様々な道具を使い、飾りづくりを作成する。 「イモ版画」 ・サツマイモや彫刻刀、ナイフ、型抜きなど、いろいろな道具を使い形を作成する。
3 学期	14	（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 卒業制作	「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）・学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・お面を作ろう。 （節分） 卒業式の壁画、装飾 ・作ってみよう 卒業制作	・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い節分の鬼面を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現することができる。 （学・人）1年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げることができる。	（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）1年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げようとしている。	・作ってみよう。 ひな祭り 卒業式の壁画、装飾 1年間のまとめ 作品集づくり	「ひな人形」 ・はさみやのり、マジック、色紙等を使いひな人形を作成する。 「作品集づくり」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い作品集を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。（小2段階） （思判表力）感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。（小2段階） （学・人）音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	（知及技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 （思判表力）好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 （学・人）音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	（知・技）音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 （思・判・表）好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 （主学）音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（APT） 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌（春の小川等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・春に関する曲
		（知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 （思判表力）身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 （学・人）拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	（知・技）拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 （思・判・表）身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 （主学）拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（APT） 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌（こいのぼり等） 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲
		（知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。 （思判表力）声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 （学・人）教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	（知・技）教師や友達と一緒に歌おうとしている。 （思・判・表）声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 （主学）教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌（月桃等） ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・カステタネット 【鑑賞・共通事項】 ・6月にちなんだ曲
		（知及技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 （思判表力）簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 （学・人）教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	（知・技）音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 （思・判・表）簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 （主学）教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌（ヤッホッホ夏休み等） 【器楽・共通事項】 ・カステタネット 【鑑賞・共通事項】 ・7月にちなんだ曲
		（知及技）範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 （思判表力）身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 （学・人）郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	（知・技）範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 （思・判・表）身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 （主学）郷土の音楽や楽器に親しみをもち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） ・校歌ダンス（運動会用） 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌（つき等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・9月にちなんだ曲

2 学 期	30	(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力) 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学・人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・10月にちなんだ曲
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学・人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（小） 【鑑賞・共通事項】 ・11月にちなんだ曲
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学・人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（大） 【鑑賞・共通事項】 ・12月にちなんだ曲
3 学 期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとするすることができる。 (学・人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思・判・表) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・1月にちなんだ曲
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学・人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・2月にちなんだ曲
		(知及技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（ありがとうさようなら等） 【器楽・共通事項】 ・児童の好きな楽器（タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴、太鼓） 【鑑賞・共通事項】 ・3月にちなんだ曲
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小2段階） （思判表力）遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小2段階） （学・人）遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	26	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
5月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
6月	7月	（知及技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 （思判表力） 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 （学・人） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	（知・技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとしることができる。 （思・判・表） 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 （主学） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
7月				「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	

9月	30	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
10月				「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	
11月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
12月				「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	
1月	14	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

3月	【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して	(知及技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等	・ (A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・ (F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・ (G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・ 単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程A） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35時間		5学年			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	（知及技） 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 （思判表力） 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 （学・人） 意欲的に活動に参加する。	（知及技） 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 （思判表力） 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 （学・人） 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】
				「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	
2学期	15	（知及技） 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 （思判表力） 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 （学・人） 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	（知及技） 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 （思判表力） 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 （学・人） 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】
				「外国の文化についてしよう」 ・ハロウィン	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】
				「ゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「外国の文化についてしよう」 ・クリスマス	
3学期	7	（知及技） 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 （思判表力） 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 （学・人） 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	（知及技） 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 （思判表力） 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 （学・人） 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】
				「お店ごっこをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「一年間のまとめをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		5 学年			自作教材、絵本、絵カード等
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。 ・挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・場に応じた挨拶
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 ・家族の愛情や家族の一員としての役割について、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度
		・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直しよりよく生活しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃 ・好き嫌い
		・自分の思いだけでなく友達の気持ちも考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。 ・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになつて ・友達の立場になつて	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に

2 学 期	15	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。 ・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと
		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。 ・体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものを大切にしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3 学 期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気づき、生命を大切に生活しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとする。 ・いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、身近に感じ、他奥に対して理解や親しみをもとうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、在校生へ、先生へ
年 間 を 通 し て		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	5学年		自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・修学旅行 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を定める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和6年度幼児児童生徒総会
2 学 期	1		・八特祭テーマ ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・八特祭テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	5学年		自作教材・絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	65	(知及技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けてようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 (ア基本的生活習慣) 「どんな一日？」 (カ日課・予定)	・簡単な身辺処理を教師と一緒に行動する。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
5月		(知及技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 (エ遊び) 「自然に触れよう」 (サ生命・自然)	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにある自然や生き物に触れる。
6月		(知及技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ることができる。 (思判表力) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 学校生活で関わる教室や先生たちを知ろうとする。 (思・判・表) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 (ケきまり)	・学校探検などで、身の回りにある教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
7月		(知及技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けてようとする。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。
9月		(知及技) 様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 (思判表力) 身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 (カ役割)	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒に進めたりする。

10月		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気づき、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気づき、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
11月	75	（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを感じて表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
12月		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
1月		（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気づき、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気づき、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
2月	35	（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知ろうとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり、地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。
3月		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気づき、教師と一緒に行おうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気づき、教師と一緒に行おうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒にへ行ったり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。

年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとすることができる。	（知・技）・教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表）・身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化に触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年		りんごがコロコロ コロリンコ おいしいな！ 自作教材

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。（小1段階） （思判表力）言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。（小1段階） （学・人）言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	（知及技） 呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。（ア言葉の特徴（イ））（イ我が国の言語文化（ア）（エ）） （思判表力） 身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。（A 聞くこと・話すこと アイ）（C 読むこと イ） （学・人） 言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小1段階）	（知・技） 教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 （思・判・表） 身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 （主学）学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 （評価資料） 活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「学校だいすき」 （A聞くこと・話すこと） 「いろいろな言葉」 （A聞くこと・話すこと）	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。（知及技に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。（知及技に関する活動） ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごしながらか、教師の言葉に耳を傾ける。（思判表力に関する活動）
2 学期	30	（知及技）遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる（イ 我が国の言語文化（イ）） いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。（イ 我が国の言語文化（ウ）） （思判表力）活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。（A 聞くこと・話すこと ア）（C 読むこと アウエ） （学・人）言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小1段階）	（知・技）遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 （思・判・表）活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしたりしているか。 （主学）学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「やりとりを楽しもう」 （A聞くこと・話すこと C読むこと） 「言葉で遊ぼう」 （A聞くこと・話すこと）	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ（知及技に関する活動） ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。（知及技に関する活動） ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。（思判表力に関する活動）
3 学期	14	（知及技）読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じることができる。（ア言葉の特徴（ア）） （思判表力）自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。（A 聞くこと・話すこと ウ） 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。（B書くこと アイ） （学・人）言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。（小1段階）	（知・技）遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 （思・判・表）自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 （主学）学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。（目線、表情、動作、発声、発語など）	「つたえよう」 （A聞くこと・話すこと） 「絵本だいすき」 （A聞くこと・話すこと）	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。（知及技に関する活動） ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。（思・判・表） ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。（思・判・表）
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程B） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年		自作教材・絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものともとの対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものともとの関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものともとの対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものともとの関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものともとの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気づき、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・プットイン教材 ・ソフト積み木
2学期	30	(知及技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気づき、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気づき、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	14	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気づき、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気づき、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程B） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小1段階) (学・人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ 「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ・校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル 「うたおう」(音) ・ばすのうた ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第5 「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして3拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。 ・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・太太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。 ・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	(知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」(音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・3びきのやぎのがらがらどん	・セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。

2 学 期	30			「からだを動かそう」 (音) ・おばけなんてないさ ・おやつたーべよ ・パスごっこ 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」 (音) ・きらきらぼし 「むかいあってたのしくあそぼう」(音) ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」 (音) ・赤鼻のトナカイ 「うたやリズムを楽しもう」(鑑) ・あわてんぼうのサンタクロース	・季節の曲を楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3 学 期	14	(知及技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思判表力) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (学・人) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	(知・技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (主学) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」 (音) ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」(音) ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。
				「歌って踊って」(音) ・ちえっちえっこり 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて1年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
		留意点 引継ぎ等			

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5 学年		自作教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力) 表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人) 表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようことができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しもうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)	「作ってみよう ～べたべた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせでお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう ～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができるとに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」(B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2 学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することを楽しもうとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」(B鑑賞) 「作ってみよう ～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒に花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう ～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう ～いろいろな形をべたべた押し～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ
		(知及技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に動きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。	(知・技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に動きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。	「描いてみよう ～今年の抱負～」 (A表現) (B鑑賞)	・教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、自分の思いを描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め

3 学 期	14	(思判表力) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「粘土で遊ぼう ～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」(A表現) 「作ってみよう ～ビリビリ・ひらひら～」(A表現)	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど ・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（Ⅱ課程B） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。（小1段階） (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。（小1段階） (学・人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。（小1段階）		
------	---	--	--

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム ※上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
2 学 期	30	【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走
3 学 期	14	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・（A 体づくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部5学年（Ⅱ課程B） 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		5 学年			
年間目標		(1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 (思弁表力) 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 (学・人) 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	(知及技) 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思弁表力) 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 (学・人) 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。 【(1)イ(7)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。 【(1)イ(4)】 Halloween Christmas valentine's day など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。 【(3)①ア(4)】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜 など
2 学期	15			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(4)】 Color tag (色鬼) など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」
				「一年間のまとめをしよう」
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程B） 道徳科 年間指導計画

単位数／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		5 学年			自作教材・絵本
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関する事】 ・身近な大人存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。 【主として人との関わりに関する事】 ・友達の存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関する事】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いのち探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう ぶう ぶう」「あーそーぼ」「くつついた」「あめふりあつくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2 学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関する事】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関する事】 ・友達の存在や集団の雰囲気、気づき、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関する事】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3 学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関する事】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関する事】 ・友達の感情や集団の雰囲気を、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関する事】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれしいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 5年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	5学年		自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・修学旅行 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を定める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和6年度幼児児童生徒総会
2 学 期	1		・八特祭テーマ ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・八特祭テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
280	6学年		自作教材・絵本・映像教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4 月	104	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・学部集会 ・新転入生を迎える会 ・春の遠足
5 月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「自分から進んで係活動しよう」	・地震津波、避難訓練 ・当番、係り、手伝い
6 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「安全について考えてみよう」 ・「お金の使い方を考えよう」	・白保小学校交流会 ・不審者対策避難訓練 ・買い物学習

7月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・交通安全教室 ・1学期終業式
9月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化に気づく。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「生き物や自然の特徴を知ろう」	・火災避難訓練 ・自然とのふれあい
10月	120	(知及技) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知及技) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「自分の役割に取り組もう」 ・「地域について調べよう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・運動会 ・社会見学 ・修学旅行
11月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「マナーを守って行動しよう」 ・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」	・勤労感謝週間 ・修学旅行 ・宮良小・吉原小学校交流会

1 2 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・準備や片付けをして一緒に楽しもう。 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・クリスマス集会 ・2学期終業式
1 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「自分の役割に取り組もう」	・3学期はじめ学部集会 ・八特祭
2 月	56	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知る。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知ろうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・生き物や自然の特徴を知ろう。 ・「お金の使い方を考えよう」	・植物の収穫 ・交通機関の利用
3 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・卒業式 ・修了式 ・離任式
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	6 学年		ゆっくり学ぶ子のためのこくご ／自作教材、絵本、ipad等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。 （思判表力）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。 （学・人）言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	78	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができる。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができる。	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができるようにする。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができるようにする。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話せるようにする。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができるようにする。	・役割をもって伝えてみよう ・話し合いをしよう ・お店の人に聞いてみよう ・ひらがなを読もう、書こう ・家の中でカタカナを探してみよう。 ・カタカナを書こう。	・自己紹介 ・係り、当番活動 ・新転入生の歓迎会 ・学級活動 ・遠足 ・買い物 ・文字の読み書き
2 学期	90	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができる。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができる。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができる。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができる。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をし文字や文を書くことができる。	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができるようにする。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができるようにする。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができるようにする。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができるようにする。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をし文字や文を書くことができるようにする。	・図書室に行ってみよう。 ・ひらがな、漢字を書いてみよう。 ・文を書こう。	・本を探す ・絵本の読み聞かせ ・日常生活に使われている漢字 ・年賀状作り

3 学 期	42	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができる。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができる。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができる。	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができるようにする。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができるようにする。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができるようにする。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができるようにする。	・ひらがな、漢字を書いてみよう ・推敲して発表しよう。	・書き初め ・一年間の振り返り ・手紙
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	6 学年		ゆっくり学ぶ子のためのさんすう ／自作教材、絵カード、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力」など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) 10をひとまとまりにして数える良さに気付くことができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えることができる。 (学・人) 生活の中から多い・少ないに関心をもつことができる。	(知・技) 10をひとまとまりにして数える良さに気付こうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えようとする。 (主学) 生活の中から多い・少ないに関心をもとうとする。	・10より大きい数。 (多い少ない、比べる言葉)	・数字を読んだり書いたりする。 ・次の数あて、前の数あて、逆の順で数詞を言ったり書いたりする。 ・友だちや教師の数を数えたり、学習の中で必要な数を数えたりする。 ・具体物と数詞を一対一対応する。 ・ゲームなどを通して、数比べをする。 ・生活の中から関連させ使えるようにする。
		(知及技) 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かし、具体物を操作したりする。 (思判表) 方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かし、人形等を操作することができる。 (学・人) 方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組むことができる。	(知・技) 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かし、具体物を操作しようとする。 (思・判・表) 方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かし、人形等を操作しようとする。 (主学) 方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組もうとする。	・位置を表す言葉（上と下、中と外、右と左）	・ゲームなどを通して前後、上下、左右、方向や位置の確認をする。
		(知及技) 合併や増加の意味を理解し、式に表すことができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 (学・人) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	(知・技) 合併や増加の意味を理解し、式に表そうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 (主学) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・足し算（10～20まで）	・具体物や半具体物を使い20までの数を合わせたり分けたりする操作を繰り返し行う。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		(知及技) 具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わしたりすることができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を使い、減法の式で考えることができる。 (学・人) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	(知・技) 具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わそうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を使い、減法の式で考えようとする。 (主・学) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・引き算（20まで）	・具体物や半具体物を使い20までの数の減法の操作を繰り返し行う。 ・簡単な文章問題を読み、式に表したり計算したりする。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		(知及技) 角の大きさや意味について基礎的な知識を理解することができる。 (思判表) ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気づき、具体物を操作することができる。 (学・人) 坂道と角度の関係について関心をもつことができる。	(知・技) 角の大きさや意味について基礎的な知識を理解しようとする。 (思・判・表) ・ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気づき、具体物を操作しようとする。 (主学) 坂道と角度の関係について関心をもとうとする。	・形をつくろう。（図形） ・坂道を作ろう（角を探し）	・丸、三角形、四角形等の簡単な形の学習をする。 ・積み木でいろいろな形をつくる。 ・ミニカーゲームを行う

2 学 期	60	（知及技）お金を数えることができる。 （思判表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つことができる。 （学・人）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行うことができる。	（知・技）お金を数えようとする。 （思・判・表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つようとする。 （主学）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行おうとする。	・買い物しよう。（お金を並べる、計算）	・具体物を使って、「何を、何個買う。」等の買い物学習をする。 ・買い物に必要な金額を計算する。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）かさを「コップ〇杯分」等の言葉で表したりすることができる。 （主・学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもつことができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）かさを「コップ〇杯分」等の言葉で表そうとする。 （主学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもとうとする。	・「かさ」をはかろう。（比べる、太さで比べる、広い狭いと遠い近い）	・かさを測る。 ・生活場面で、ものの大小、多少、長短、高低、重い軽い、広い狭い等、比較の学習をする。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べることができる。 （学・人）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えることができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べようとする。 （主学）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えようとする。	・くらべてみよう。（長い短い、長さ比べ、並べる、一番長いのは、うつして比べる、長さを測る、長さはいくつ分）	・いろいろな長さのペンやボールなど、身の回りにあるものを比べる。徐々に比較対象物の種類を増やす。
3 学 期	28	（知及技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読むことができる。 （思判表）日課表から、学校の生活の見通しをもつことができる。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読もうとする。 （思・判・表）日課表から、学校の生活の見通しを持とうとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・時計の読み方。（学校の生活、長い針、短い針、何時でしょう、午前、午後、あさ、ひる、よる、昨日、今日、明日）	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味の学習をする。 ・調理学習を通して、タイマーを使用したり時計を利用したりする。
		（知及技）・動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べたりすることができる。 （思判表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求め （学・人）絵を描きながら答えを予想することができる。	（知・技）動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べようとする。 （思・判・表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求めようとする。 （主・学）絵を描きながら答えを予想しようとする。	・表や絵に表して計算しよう。（グラフ）	・玉入れやゲームの勝敗表、頑張り表やチェックカードの○×の記入をし、表の基礎の学習をする。
		（知及技）天気表に天気を記号で記入することができる。 （思判表）・週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入することができる。 （学・人）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づくことができる。	（知・技）天気表に天気を記号で記入しようとする。 （思・判・表）週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入しようとする。 （主学）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づこうとする。	・天気表を記録しよう。（天気、カレンダー、日にち、曜日、予定）	・天気表に晴、曇り、雨などの記号を分けて書いて、文字で書いたりする。どの天気が今月多かったなど、見比べる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小2段階) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学・人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思・判・表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (APT) 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌 (春の小川等) 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・春に関する曲
		(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (APT) 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌 (こいのぼり等) 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲
		(知及技) 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学・人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思・判・表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌 (月桃等) ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・カスタネット 【鑑賞・共通事項】 ・6月にちなんだ曲
		(知及技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学・人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌 (ヤッホッホ夏休み等) 【器楽・共通事項】 ・カスタネット 【鑑賞・共通事項】 ・7月にちなんだ曲
		(知及技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学・人) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) ・校歌ダンス (運動会用) 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌 (つき等) 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・9月にちなんだ曲

2 学 期	30	(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。 (思判表力) 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。 (学・人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。 (思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。 (主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・10月にちなんだ曲
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 (学・人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（小） 【鑑賞・共通事項】 ・11月にちなんだ曲
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。 (思判表力) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。 (学・人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。 (主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（大） 【鑑賞・共通事項】 ・12月にちなんだ曲
3 学 期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 (思判表力) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとするすることができる。 (学・人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 (思・判・表) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとしている。 (主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・1月にちなんだ曲
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。 (思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。 (学・人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。 (主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・2月にちなんだ曲
		(知及技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（ありがとうさようなら等） 【器楽・共通事項】 ・児童の好きな楽器（タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴、太鼓） 【鑑賞・共通事項】 ・3月にちなんだ曲
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		自作教材、絵本等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとする。 （思判表力）様々な材料や形、色に触れることで、表したいことを思い付いたり作品の面白さを感じたり広げたりすることができる。 （学・人）つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに触れあうことにより楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 誕生表をつくろう。 学級目標をつくろう。 ・やってみよう 色で遊ぼう	「誕生表」「学級目標」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い誕生表や学級目標を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （遠足の思い出） ・作ってみよう。 道具の使い方 工作体験 （母の日）	「母の日のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「遠足の思い出」 ・マジックや絵の具、画用紙等を使って作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱など、いろいろな道具を使いおもちゃづくりをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな容器を選び、形の組み合わせを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう （父の日） かたつむり	「父の日」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱やヤクルトヨーグルトの容器などを使い、かたつむりを作成することができる。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）形を組み合わせることによって、模様となったり、具体物になったりすることを知らずとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （七夕） 丸、三角、四角でつくろう	「七夕飾り」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い七夕飾りを作成する。 「丸、三角、四角でつくろう」 ・ヤクルトの容器の裏やミルクの缶、お菓子の箱、などから形を見つけ型取りをしながら、形を楽しんで作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）物語の好きな場面を選んで自分なりに表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （敬老の日） 描いてみよう 読書感想画	「敬老の日プレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙や季節の草花等を使いプレゼントを作成する。 「読書感想画」 ・自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。

2 学期	30	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）はさみを正しく使い、自分の思うように切ることができる。 （学人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）人の顔には目や口、眉毛など様々なパーツがあることに気づき、自分の顔を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （読書感想画） つくってみよう 紙版画	「読書感想画」 自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。 「紙版画」 目や口、眉毛などのパーツを配り、顔や体、手、足などを自分で組み立て、好きな動きに作成していく。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）松ぼっくりや枝など、毛糸を巻く素材による印象の違いを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 ミノムシをつくろう （勤労感謝の日）	「勤労感謝のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「ミノムシをつくろう」 松ぼっくりや木の枝、毛糸などいろいろな道具を使い毛糸の巻いてミノムシを作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）サツマイモの柔らかさを生かし、切り口を彫るなどの工夫をすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな形を考え、形づくりを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （クリスマス飾り） ・イモ版画。 （年賀状作り）	「クリスマス飾り」 ・松ぼっくりや、毛糸、ハンガーなど様々な道具を使い、飾りづくりを作成する。 「イモ版画」 ・サツマイモや彫刻刀、ナイフ、型抜きなど、いろいろな道具を使い形を作成する。
3 学期	14	（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 卒業制作	「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）・学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・お面を作ろう。 （節分） 卒業式の壁画、装飾 ・作ってみよう 卒業制作	・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い節分の鬼面を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現することができる。 （学・人）1年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げることができる。	（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）1年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げようとしている。	・作ってみよう。 ひな祭り 卒業式の壁画、装飾 1年間のまとめ 作品集づくり	「ひな人形」 ・はさみやのり、マジック、色紙等を使いひな人形を作成する。 「作品集づくり」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い作品集を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小2段階） （思判表力）遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小2段階） （学・人）遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4 月	26 時間	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
5 月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
6 月	7 月	（知及技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 （思判表力） 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 （学・人） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	（知・技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとすることができる。 （思・判・表） 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 （主学） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
7 月				「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	

9月	30時間	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
10月				「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	
11月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
12月				「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	
1月	14時間	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

3月	【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して	(知及技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等	・ (A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・ (F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・ (G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・ 単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35時間		6 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 意欲的に活動に参加する。	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気	
				「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜	
				「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	
2 学期	15	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】 ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「外国の文化についてしろろ」 ・ハロウィン	
				「ゲームをしよう」	
				「外国の文化についてしろろ」 ・クリスマス	
3 学期	7	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「お店ごっこをしよう」	
				「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		6 学年			自作教材、絵本、絵カード等
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。 ・挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・場に応じた挨拶
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 ・家族の愛情や家族の一員としての役割について、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度
		・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直しよりよく生活しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃 ・好き嫌い
		・自分の思いだけでなく友達の気持ちも考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。 ・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになっ - て ・友達の立場になっ	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に

2 学期	15	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。 ・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと
		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。 ・体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものを大切にしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3 学期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気づき、生命を大切に生活しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとする。 ・いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、身近に感じ、他奥に対して理解や親しみをもとうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、在校生へ、先生へ
年間を通して		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6 学年		自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を定める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・2学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・2学期の目標 ・係活動を決めよう ・修学旅行 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・2学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・2学期頑張ろう会に参加する。 ・2学期の行事の確認 ・2学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・2学期の係活動を定める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・2学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和6年度幼児児童生徒総会
2 学 期	1		・八特祭テーマ ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・八特祭テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
280	6学年		自作教材・絵本・映像教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	104	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・学部集会 ・新転入生を迎える会 ・春の遠足
5月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「自分から進んで係活動しよう」	・地震津波、避難訓練 ・当番、係り、手伝い
6月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」 ・「安全について考えてみよう」 ・「お金の使い方を考えよう」	・白保小学校交流会 ・不審者対策避難訓練 ・買い物学習

7月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会との関わりについて考え、表しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・交通安全教室 ・1学期終業式
9月		(知及技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけようとする。 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化に気づく。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「安全について考えてみよう」 ・「生き物や自然の特徴を知ろう」	・火災避難訓練 ・自然とのふれあい
10月	120	(知及技) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知及技) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「自分の役割に取り組もう」 ・「地域について調べよう」 ・「マナーを守って行動しよう」	・運動会 ・社会見学 ・修学旅行
11月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりが分かる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設、簡単なマナーやきまりを分かろうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、自然について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「マナーを守って行動しよう」 ・「準備や片付けをして一緒に楽しもう」	・勤労感謝週間 ・修学旅行 ・宮良小・吉原小学校交流会

1 2 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・準備や片付けをして一緒に楽しもう。 ・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・クリスマス集会 ・2学期終業式
1 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ・「自分の役割に取り組もう」	・3学期はじめ学部集会 ・八特祭
2 月	56	(知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知る。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現することができるようにする。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かる。日常生活の中で、金銭を扱い、社会の仕組みや公共施設を知ろうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々、社会及び自然との関わりについて考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・生き物や自然の特徴を知ろう。 ・「お金の使い方を考えよう」	・植物の収穫 ・交通機関の利用
3 月		(知及技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする態度を養う。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする態度を養う。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現することができる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする態度を養う。	(知・技) 身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な対応などをしようとする。 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活、身近な人々について考え、表現しようとする。 (主・学) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学ぼうとする。	・「いろいろな人に気持ちを伝えよう」	・卒業式 ・修了式 ・離任式
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	6 学年		ゆっくり学ぶ子のためのこくご ／自作教材、絵本、ipad等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。 （思判表力）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身につけ、思考力や想像力を養う。 （学・人）言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	78	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができる。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができる。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができる。	（知及技）身近な人との会話を通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくことができるようにする。 日常生活でよく使うひらがな、カタカナの正しい読み方や書き方を知ることができるようにする。 （思・判・表）役割に応じて話す順番などを検討し、教師の支援を受けながら相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話せるようにする。 文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 （学・人）使う場面に即した練習を行い、意味を理解し語彙を増やすことができるようにする。	・役割をもって伝えてみよう ・話し合いをしよう ・お店の人に聞いてみよう ・ひらがなを読もう、書こう ・家の中でカタカナを探してみよう。 ・カタカナを書こう。	・自己紹介 ・係り、当番活動 ・新転入生の歓迎会 ・学級活動 ・遠足 ・買い物 ・文字の読み書き
2 学期	90	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができる。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができる。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができる。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができる。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をし文字や文を書くことができる。	（知及技）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりすることができるようにする。 日常生活でよく使う漢字の正しい読み方を知ることができるようにする。 文の中における主語と述語の関係や意味が変わることを知ることができるようにする。 （思・判・表）登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考え、前後関係に気づくことができるようにする。 （学・人）次は何を調べたり書いたりしようか、友達や教師と話をし文字や文を書くことができるようにする。	・図書室に行ってみよう。 ・ひらがな、漢字を書いてみよう。 ・文を書こう。	・本を探す ・絵本の読み聞かせ ・日常生活に使われている漢字 ・年賀状作り

3 学 期	42	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができる。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができる。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができる。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができる。	（知及技）日常生活でよく使うひらがなや漢字の正しい読み方を知り、筆を柄って文字の形に注意しながら丁寧に書くことができるようにする。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について知ることができるようにする。 （思判表力）文字を横書きや縦書きで書く事に取り組むことができるようにする。 体験したことを振り返り、思い浮かべた事を整理して伝えたい事を考えることができるようにする。 （学・人）言葉の意味を理解し、語彙を増やすことができるようにする。	・ひらがな、漢字を書いてみよう ・推敲して発表しよう。	・書き初め ・一年間の振り返り ・手紙
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	6 学年		ゆっくり学ぶ子のためのさんすう ／自作教材、絵カード、ipad等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力」など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) 10をひとまとまりにして数える良さに気付くことができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えることができる。 (学・人) 生活の中から多い・少ないに関心をもつことができる。	(知・技) 10をひとまとまりにして数える良さに気付こうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を見ながら、多い少ないに分けて考えようとする。 (主学) 生活の中から多い・少ないに関心をもとうとする。	・10より大きい数。 (多い少ない、比べる言葉)	・数字を読んだり書いたりする。 ・次の数あて、前の数あて、逆の順で数詞を言ったり書いたりする。 ・友だちや教師の数を数えたり、学習の中で必要な数を数えたりする。 ・具体物と数詞を一対一対応する。 ・ゲームなどを通して、数比べをする。 ・生活の中から関連させ使えるようにする。
		(知及技) 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かしたり、具体物を操作したりする。 (思判表) 方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かししたり、人形等を操作することができる。 (学・人) 方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組むことができる。	(知・技) 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて体を動かしたり、具体物を操作しようとする。 (思・判・表) 方向や位置に関する言葉を聞いて、腕や足を動かししたり、人形等を操作しようとする。 (主学) 方向や位置に関する言葉と数に関連した問題に取り組もうとする。	・位置を表す言葉（上と下、中と外、右と左）	・ゲームなどを通して前後、上下、左右、方向や位置の確認をする。
		(知及技) 合併や増加の意味を理解し、式に表すことができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 (学・人) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	(知・技) 合併や増加の意味を理解し、式に表そうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を使い、加法の式で考えようとする。 (主学) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・足し算（10～20まで）	・具体物や半具体物を使い20までの数を合わせたり分けたりする操作を繰り返し行う。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		(知及技) 具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わしたりすることができる。 (思判表) 10以上の数について具体物を使い、減法の式で考えることができる。 (学・人) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	(知・技) 具体物を操作することで、残りを求めたり、式に表わそうとする。 (思・判・表) 10以上の数について具体物を使い、減法の式で考えようとする。 (主・学) 時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもとうとする。	・引き算（20まで）	・具体物や半具体物を使い20までの数の減法の操作を繰り返し行う。 ・簡単な文章問題を読み、式に表したり計算したりする。 ・カレンダーや時計などと関連させながら使えるようにする
		(知及技) 角の大きさや意味について基礎的な知識を理解することができる。 (思判表) ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気づき、具体物を操作することができる。 (学・人) 坂道と角度の関係について関心をもつことができる。	(知・技) 角の大きさや意味について基礎的な知識を理解しようとする。 (思・判・表) ・ミニカーゲームを通して、斜面と底面の関係に気づき、具体物を操作しようとする。 (主学) 坂道と角度の関係について関心をもとうとする。	・形をつくろう。（図形） ・坂道を作ろう（角を探し）	・丸、三角形、四角形等の簡単な形の学習をする。 ・積み木でいろいろな形をつくる。 ・ミニカーゲームを行う

2 学 期	60	（知及技）お金を数えることができる。 （思判表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つことができる。 （学・人）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行うことができる。	（知・技）お金を数えようとする。 （思・判・表）具体物や図を用いながらお金について関心を持つようとする。 （主学）欲しいものを選ぶ、必要な物の数を数える、お金を数える等の活動を進んで行おうとする。	・買い物しよう。（お金を並べる、計算）	・具体物を使って、「何を、何個買う。」等の買い物学習をする。 ・買い物に必要な金額を計算する。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）かさを「コップ〇杯分」等の言葉で表したりすることができる。 （主・学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもつことができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）かさを「コップ〇杯分」等の言葉で表そうとする。 （主学）生活の中から広い・狭いや遠い・近いに関心をもとうとする。	・「かさ」をはかろう。（比べる、太さで比べる、広い狭いと遠い近い）	・かさを測る。 ・生活場面で、ものの大小、多少、長短、高低、重い軽い、広い狭い等、比較の学習をする。
		（知及技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解する。 （思判表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べることができる。 （学・人）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えることができる。	（知・技）具体物の操作や体験を通じて比べる言葉を理解しようとする。 （思・判・表）身の回りにあるものの長さに関心をもち様々な方法で比べようとする。 （主学）身の回りにあるものの長さは、いくつ分かとして捉えようとする。	・くらべてみよう。（長い短い、長さ比べ、並べる、一番長いのは、うつして比べる、長さを測る、長さはいくつ分）	・いろいろな長さのペンやボールなど、身の回りにあるものを比べる。徐々に比較対象物の種類を増やす。
3 学 期	28	（知及技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読むことができる。 （思判表）日課表から、学校の生活の見通しをもつことができる。 （学・人）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心をもつことができる。	（知・技）アナログの時計を見て、簡単な時刻を読もうとする。 （思・判・表）日課表から、学校の生活の見通しを持とうとする。 （主学）時刻や時間、生活と時刻のつながりに関心を持とうとする。	・時計の読み方。（学校の生活、長い針、短い針、何時でしょう、午前、午後、あさ、ひる、よる、昨日、今日、明日）	・時計の仕組み、長針や短針、12までの数字の意味の学習をする。 ・調理学習を通して、タイマーを使用したり時計を利用したりする。
		（知及技）・動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べたりすることができる。 （思判表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求め （学・人）絵を描きながら答えを予想することができる。	（知・技）動画を見て現象を絵に表し、個数を求めたり比べようとする。 （思・判・表）玉入れの動画を見て事象を絵や表に表し、加法・減法を用いて個数や多少を求めようとする。 （主・学）絵を描きながら答えを予想しようとする。	・表や絵に表して計算しよう。（グラフ）	・玉入れやゲームの勝敗表、頑張り表やチェックカードの○×の記入をし、表の基礎の学習をする。
		（知及技）天気表に天気を記号で記入することができる。 （思判表）・週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入することができる。 （学・人）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づくことができる。	（知・技）天気表に天気を記号で記入しようとする。 （思・判・表）週間天気予報から、天気表に晴れ、雨、曇りの記号を使い分けて記入しようとする。 （主学）天気表を見ながら「明日は雨だから、遊べない」など気づこうとする。	・天気表を記録しよう。（天気、カレンダー、日にち、曜日、予定）	・天気表に晴、曇り、雨などの記号を分けて書いたり、文字で書いたりする。どの天気が今月多かったなど、見比べる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。(小2段階) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しんだり、豊かな情操を育んだりすることができる。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。 (思判表力) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌いたいと思うことができる。 (学・人) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組むことができる。	(知・技) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かしている。 (思・判・表) 好きな歌や旋律の一部分を自分なりに歌おうとしている。 (主学) 音楽活動に興味を持ち、楽しみながら学習に取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (APT) 【歌唱・共通事項】 ・4月の歌 (春の小川等) 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・春に関する曲
		(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。 (思判表力) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学・人) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムに気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) 拍に合わせて楽器を鳴らし、いろいろなリズムに興味を持つようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (APT) 【歌唱・共通事項】 ・5月の歌 (こいのぼり等) 【器楽・共通事項】 ・タンブリン 【鑑賞・共通事項】 ・5月に関する曲
		(知及技) 教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思判表力) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとすることができる。 (学・人) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌ったりすることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に歌おうとしている。 (思・判・表) 声や身の回りの様々なものを用いて、音を出そうとしている。 (主学) 教師をよく見て、合図に合わせて発声したり、部分的に歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) 【歌唱・共通事項】 ・6月の歌 (月桃等) ・白保と八特の子どもたち 【器楽・共通事項】 ・カスタネット 【鑑賞・共通事項】 ・6月にちなんだ曲
		(知及技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付くことができる。 (思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとすることができる。 (学・人) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組むことができる。	(知・技) 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さに気付いている。 (思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かそうとしている。 (主学) 教師や友達とのやりとりを楽しみながら、身体表現や音楽づくりに取り組もうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) 【歌唱・共通事項】 ・7月の歌 (ヤッホッホ夏休み等) 【器楽・共通事項】 ・カスタネット 【鑑賞・共通事項】 ・7月にちなんだ曲
		(知及技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱することができる。 (思判表力) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとすることができる。 (学・人) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりすることができる。	(知・技) 範唱を聴いて、曲の一部を模唱しようとしている。 (思・判・表) 身近な打楽器に親しみ、音を出そうとしている。 (主学) 郷土の音楽や楽器に親しみを持ち、進んで身体表現したり、歌ったりしようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス (児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定) ・校歌ダンス (運動会用) 【歌唱・共通事項】 ・9月の歌 (つき等) 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・9月にちなんだ曲

2 学 期	30	(知及技) 楽器の音色の違いに気付くことができる。	(知・技) 楽器の音色の違いに気付いている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・10月の歌（虫の声等） 【器楽・共通事項】 ・キーボード 【鑑賞・共通事項】 ・10月にちなんだ曲
		(思判表力) 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。	(思・判・表) 音遊びを通して、音の面白さに気付いている。		
		(学・人) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組むことができる。	(主学) 好きな歌詞や登場人物を見つけ、役割を分担しながら、教師や友達と一緒に歌唱や身体表現に取り組もうとしている。		
		(知及技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かすことができる。	(知・技) 曲に合わせて教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・11月の歌（ゆうやけこやけ等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（小） 【鑑賞・共通事項】 ・11月にちなんだ曲
		(思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。	(思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌の一部分を自分なりに歌おうとしている。		
		(学・人) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かしたりすることができる。	(主学) テンポや音量の違いを感じ、工夫して歌ったり、身体全体を動かそうとしている。		
		(知及技) 自分の歌声に注意を向けて歌うことができる。	(知・技) 自分の歌声に注意を向けて、歌おうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・12月の歌（あわてんぼうのサンタクロース等） 【器楽・共通事項】 ・木琴（大） 【鑑賞・共通事項】 ・12月にちなんだ曲
		(思判表力) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとすることができる。	(思・判・表) 身近な打楽器などに親しみ、自ら音を出そうとしている。		
		(学・人) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付くことができる。	(主学) 身近な打楽器を用いて、曲の簡単なリズムやパターンの特徴の面白さなどに気付こうとしている。		
3 学 期	14	(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・1月の歌（お正月等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・1月にちなんだ曲
		(思判表力) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとするすることができる。	(思・判・表) 音遊びを通して音の面白さに気付く、自ら音や音楽で表現しようとしている。		
		(学・人) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持ったりすることができる。	(主学) わらべうたの良さや面白さを感じとり、教師や友達と一緒に身体を動かしたり、歌ったりする学習に親しみ、他のわらべうたにも関心を持とうとしている。		
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付くことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に気付いている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・2月の歌（おにのパンツ等） 【器楽・共通事項】 ・太鼓 【鑑賞・共通事項】 ・2月にちなんだ曲
		(思判表力) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとすることができる。	(思・判・表) 簡単なリズムの特徴を感じ取り、自ら体を動かそうとしている。		
		(学・人) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付いたりすることができる。	(主学) 歌声や楽器の音色に気をつけながら、曲想にあった表現を工夫したり、歌声と楽器の音を合わせて演奏する楽しさに気付こうとしている。		
		(知及技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。	(知・技) 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。	「リズムにのってからだをうごかそう」 「やさしいこえでたのしくうたおう」 「がっきをつかっておとをならそう」 「おもしろいさくひんをかんしょうしよう」	【身体表現・共通事項】 ・ダンス（児童からのリクエストを全て視聴し、投票で決定） 【歌唱・共通事項】 ・3月の歌（ありがとうさようなら等） 【器楽・共通事項】 ・児童の好きな楽器（タンブリン、カスタネット、キーボード、木琴、太鼓） 【鑑賞・共通事項】 ・3月にちなんだ曲
		(思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。	(思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。		
		(学・人) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組むことができる。	(主学) 一年間を振り返り、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や身体表現、音楽づくりや器楽、鑑賞などの活動に取り組もうとしている。		
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		自作教材、絵本等

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくろうとする。 （思判表力）様々な材料や形、色に触れることで、表したいことを思い付いたり作品の面白さを感じたり広げたりすることができる。 （学・人）つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに触れあうことにより楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 誕生表をつくろう。 学級目標をつくろう。 ・やってみよう 色で遊ぼう	「誕生表」「学級目標」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い誕生表や学級目標を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな色を選び、色の組み合わせを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （遠足の思い出） ・作ってみよう。 道具の使い方 工作体験 （母の日）	「母の日のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「遠足の思い出」 ・マジックや絵の具、画用紙等を使って作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱など、いろいろな道具を使いおもちゃづくりをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな容器を選び、形の組み合わせを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう （父の日） かたつむり	「父の日」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「工作体験」 ・牛乳パックやお菓子の空き箱やヤクルトヨーグルトの容器などを使い、かたつむりを作成することができる。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）形を組み合わせることによって、模様となったり、具体物になったりすることを知らずとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （七夕） 丸、三角、四角でつくろう	「七夕飾り」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い七夕飾りを作成する。 「丸、三角、四角でつくろう」 ・ヤクルトの容器の裏やミルクの缶、お菓子の箱、などから形を見つけ型取りをしながら、形を楽しんで作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）物語の好きな場面を選んで自分なりに表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （敬老の日） 描いてみよう 読書感想画	「敬老の日プレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙や季節の草花等を使いプレゼントを作成する。 「読書感想画」 ・自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。

2 学期	30	（知及技）いろいろな材料や道具を使って学級目標や誕生表を作ることができる。 （思判表）はさみを正しく使い、自分の思うように切ることができる。 （学人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）人の顔には目や口、眉毛など様々なパーツがあることに気づき、自分の顔を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・描いてみよう。 （読書感想画） つくってみよう 紙版画	「読書感想画」 自分のお気に入りのページを選び、クレヨンやマジックで表現する。 「紙版画」 目や口、眉毛などのパーツを配り、顔や体、手、足などを自分で組み立て、好きな動きに作成していく。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）松ぼっくりや枝など、毛糸を巻く素材による印象の違いを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 ミノムシをつくろう （勤労感謝の日）	「勤労感謝のプレゼント」 ・はさみやのり、マジック、画用紙等を使いプレゼントを作成する。 「ミノムシをつくろう」 松ぼっくりや木の枝、毛糸などいろいろな道具を使い毛糸の巻いてミノムシを作成する。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）サツマイモの柔らかさを生かし、切り口を彫るなどの工夫をすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）好きな形を考え、形づくりを楽しもうとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 （クリスマス飾り） ・イモ版画。 （年賀状作り）	「クリスマス飾り」 ・松ぼっくりや、毛糸、ハンガーなど様々な道具を使い、飾りづくりを作成する。 「イモ版画」 ・サツマイモや彫刻刀、ナイフ、型抜きなど、いろいろな道具を使い形を作成する。
3 学期	14	（知及技）いろいろな材料や道具を使って行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・作ってみよう。 卒業制作	「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）正しく用具を使い、模様を表したり、形の変化に気付いたりすることができる。 （学・人）自分の作品、友達の作品の面白さを感じることができる。	（知・技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）・学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）自分の作品、友達の作品の面白さを感じようとしている。	・お面を作ろう。 （節分） 卒業式の壁画、装飾 ・作ってみよう 卒業制作	・はさみやのり、マジック、画用紙等を使い節分の鬼面を作成する。 「色で遊ぼう」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い色の混ぜ合わせをする。
		（知及技）いろいろな材料や道具を使ってひな祭りの人形や行事のプレゼントを作ることができる。 （思判表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現することができる。 （学・人）1年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げることができる。	（知及技）様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品をつくったりしようとしている。 （思・判・表）学習の振り返りを行い、思い出の場面を表現しようとしている。 （主学）1年間の制作物を作品習にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げようとしている。	・作ってみよう。 ひな祭り 卒業式の壁画、装飾 1年間のまとめ 作品集づくり	「ひな人形」 ・はさみやのり、マジック、色紙等を使いひな人形を作成する。 「作品集づくり」 ・ポスターカラーや絵の具、クレヨンなどいろいろな道具を使い作品集を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。（小2段階） （思判表力）遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気づき、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を身に付ける。（小2段階） （学・人）遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	26時間	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
5月		【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師の支援を受けて簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム - 台風の目 - 大玉転がし - 玉入れ - 風船バレー - しっぽ取りゲーム - かけっこ - サーキット - 等
6月	7月	（知及技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけたり、水中に入れたりすることができる。 （思判表力） 水の抵抗を感じながら、歩いたり走ったりしながら遊ぶことができる。 （学・人） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぶことができる。	（知・技） 教師の支援を受けて、顔や頭を水面につけようとしたり、水中に入れようとすることができる。 （思・判・表） 水の中で歩いたり走ったりしながら遊ぼうとしている。 （主学） 簡単な決まりを守り、友達や教師の支援を受けて安全に楽しく遊ぼうとしている。	「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ★水に慣れよう ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き、ワニ歩き ・宝さがし、輪くぐり、汽車ポッポ ・バブリング、ボビング、息継ぎ ・伏し浮き、け伸び、バタ足 ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・平泳ぎ、クロール
7月				「水遊び・プール学習」 （D 水あそび）	

9月	30時間	(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行うことができる。 (思判表力) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく器械・器具を使って基本的な運動を行おうとしている。 (思・判・表) 器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに楽しく安全に、器械・器具を使って運動を行おうとしている。	「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	・三輪車 ・平均台（渡り歩き、跳び下り等） ・跳び箱（よじ登り、跳び下り、またぎ乗り、またぎ下り等） ・マット運動（横転がり、ゆりかご、前転がり、後ろ転がり等） ・ブランコ、トランポリン ・かけっこ、折り返しリレー ・幅跳び遊び ・ケンパー跳び遊び ・ゴム跳び遊び ※9月は、上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
10月				「レッツ！サーキット」 (B 器械・器具を使つての運動遊び) (C 走・跳の運動遊び)	
11月		(知及技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳んだりすることができる。 (思判表力) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ったりすることができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳んだりすることができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、楽しく走ったり、低いハードルをまたいだり、跳ぼうとしたりしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、最後まで歩いたり、走ろうとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に楽しく走ったり、跳ぼうとしたりしている。	「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	・目標決め ・かけっこ ・ミニハードル ・持久走
12月				「かけっこ・持久走」 (C 走・跳の運動遊び)	
1月	14時間	【知及技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師の支援を受けて歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師の支援を受けて体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
2月		(知及技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行うことができる。 (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ボールを使った基本的な運動やゲームを楽しく行おうとしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達と一緒に安全に、ボールを使って運動やゲームを行おうとしている。	「ボールで遊ぼう」 (E ボール遊び)	・転がす、投げる、蹴る、捕る ・的当てゲーム ・ボウリング ・ポッチャ ・ボール運びゲーム ・ティーベースボール ・大玉ドッチボール ・シュートゲーム等

3月	【知及技】 教師の支援を受けて感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
年間を通して	(知及技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行うことができる。 (思判表力) 集合・整列では、自分の学年に並ぶことができる。 (学・人) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行うことができる。	(知・技) 教師の支援を受けて、ウォーミングアップやラジオ体操を行おうとしている。 (思・判・表) 集合・整列では、自分の学年に並ぼうとしている。 (主学) 教師の言葉かけや簡単な指示で、準備や後片付けを行おうとしている。	「はじまるよ」 (A 体づくり運動遊び)	・ウォーミングアップ ・集合、整列 ・ラジオ体操 ・準備、後片付け
留意点 引継ぎ等	・ (A 体づくり運動遊び) ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・ (F 表現運動) ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・ (G 保健) 健康な生活は、年間を通して指導する ・ 単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程A） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35時間		6 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむ。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 意欲的に活動に参加する。	(知及技) 英語の歌や日常になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 意欲的に活動に参加しようとしている。	「自己紹介をしよう」 「挨拶をしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「What color?」 ・色 「いろいろな英語を知ろう」 ・曜日、天気	
				「what do you like」 ・好きな色 ・好きな野菜	
				「いろいろな英語を知ろう」 ・好きな果物	
2 学期	15	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知る。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりする。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付くことができる。	(知及技) 日常生活の中で触れる機会の多い語のうち、簡単な英語で表すことができるものの音声表現を知ろうとしている。 (思判表力) 英語を用いた映像や音声に興味や関心を持って見たり聞いたりしようとしている。 (学・人) 授業中や学校生活の中で、英語や外国の文化に気付こうとしている。	「アルファベットを探そう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。【(1)イ(ア)】 ・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。【(1)イ(イ)】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「外国の文化についてしろろ」 ・ハロウィン	
				「ゲームをしよう」	
				「外国の文化についてしろろ」 ・クリスマス	
3 学期	7	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	(知及技) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知る。 (思判表力) 英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に応じる。 (学・人) 言葉やジェスチャー、指さしなどで、進んでコミュニケーションをとろうとする。	「新年の過ごし方」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。【(3)①ア(イ)】 ・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】 ・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(イ)】
				「お店ごっこをしよう」	
				「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		6 学年			自作教材、絵本、絵カード等
年間目標		・自分でできることは、自ら取り組み、よいこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。 ・友達と仲良くし、助けあう心を育てるとともに、あいさつや動作などの礼儀を身につける。 ・約束やきまりを守り、集団生活における自分の役割が分かり、最後までがんばる意欲を育てる。 ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。 ・挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・学級開き ・新転入生を迎える会 ・場に応じた挨拶
		・家族の愛情や家族の一員としての役割について家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 ・家族の愛情や家族の一員としての役割について、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・母の日、父の日 ・お手伝い
		・仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・公正、公平な態度
		・安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直しよりよく生活しようとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・自分の持ち物 ・整理整頓 ・清掃 ・好き嫌い
		・自分の思いだけでなく友達の気持ちも考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。 ・友達と仲良くし助け合うことの大切さがわかり、よりよい友達関係を築こうとする。	・道徳的価値について理解しているか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになっ - て ・友達の立場になっ	・人との関わり ・どんなきもち ・物を大切に

2 学 期	15	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情や実践意欲と態度を育てる。 ・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・良いこと、悪いこと
		・相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情や実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 勤労、公共の精神】 ・働く喜び ・みんなの役に立ちたい	・色々な職業
		・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。 ・体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものを大切にしようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・公共施設でのマナー ・約束
3 学 期	7	・自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気づき、生命を大切に生活しようとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の成長を振り返る ・家族への感謝
		・地域のよさについて考え、国や郷土に親しもうとする。 ・いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、身近に感じ、他奥に対して理解や親しみをもとうとする。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・校外学習 ・地域の人々 ・世界の文化、人々の暮らし
		・言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【C 公正、公平、社会正義】 ・うれしくなる言葉	・お父さんお母さんへ、在校生へ、先生へ
年 間 を 通 し て		・自分の成長に気付いたり、友達の成長を祝う気持ちを持つ。 ・草花や野菜のお世話をしたり、観察をしたりして成長を見る。	・道徳的価値について理解してるか。 ・自分を見つめることができたか。 ・いろいろな考え方や感じ方に触れて、考えているか。 ・自分ががどうすべきか、どうしたいか考えているか。	【D 生命の尊さ】 ・誕生日を祝おう 【D 自然愛護】 ・草花や野菜を育てよう	・誕生会 ・キャリアパスポート ・草花の栽培
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6 学年		自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期	15	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・2学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・2学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・2学期の目標 ・係活動を決めよう ・修学旅行 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・2学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・2学期頑張ろう会に参加する。 ・2学期の行事の確認 ・2学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・2学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・2学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	7	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を定める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和6年度幼児児童生徒総会
2 学 期	1		・八特祭テーマ ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・八特祭テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程B） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	6学年		自作教材・絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 具体的な活動や体験を通して、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことなどについて、考えたり表現したりすることができる (学・人) 自分のことに取り組んだり、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
4月	65	(知及技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 (ア基本的生活習慣) 「どんな一日？」 (カ日課・予定)	・簡単な身辺処理を教師と一緒に行動する。 ・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
5月		(知及技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりすることができる。 (思判表力) 身の回りにおける生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 身の回りの遊びや自然の中から自分の好きな遊びを見つけたり、生命や自然に触れたりしようとする。 (思・判・表) 身の回りにおける生命や自然、遊びに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 (エ遊び) 「自然に触れよう」 (サ生命・自然)	・教師と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びを見つけたりする。 ・遠足や校外学習で、身の回りにおける自然や生き物に触れる。
6月		(知及技) 学校生活に関わる教室や先生たちを知ることができる。 (思判表力) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習することができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 学校生活に関わる教室や先生たちを知ろうとする。 (思・判・表) 自分に身近な先生が分かり、挨拶をしたり気持ちを安定させて学習しようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「学校ってどんなところ？」 (ケきまり)	・学校探検などで、身の回りにおける教室や先生たちを知り、徐々に学校生活に慣れる。
7月		(知及技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 状況に応じて安全な行動を教師と一緒に取るための知識・技能を身に付けようとする。 (思・判・表) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「きまりを知ろう」	・交通安全教室や学校周辺の散歩を通して、横断歩道を安全に渡る経験をする ・教師と一緒に避難場所まで安全に避難する（避難訓練）。
9月		(知及技) 様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たすことができる。 (思判表力) 身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりすることができる。 (学・人) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	(知・技) 様々な集団の中で活動することに慣れたり、その中で教師と一緒に簡単な役割を果たそうとする。 (思・判・表) 身の回りの集団や役割に気付き、一緒にやろうとしたり関心をもったりしようとする。 (主学) 具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「一緒にやってみよう」 (カ役割)	・友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒に果たしたりする。

10月		（知及技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用することができる。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気づき、表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な公共施設があることを知り、教師と一緒に安全に利用しようとしている。 （思判表力）公共施設には、働く人がいることや利用者がいることなど、学校との雰囲気の違いに気づき、表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
11月	75	（知及技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ることができる。 （思判表力）他校の子どもたちとの交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを表現することができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）自分の通う学校の近くには、いくつかの小学校があり、同年齢の子どもたちが学んでいることを知ろうとしている。 （思・判・表）他校との交流学習で一緒に活動し、同じ時間を共有する楽しさを感じて表現しようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	校外学習や社会科見学を通して、利用のきまりやマナーがあることを知ったり、教師と一緒に利用したりする。
12月		（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置くことができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知及技）教師と一緒に自動販売機を使ったり、簡単な買い物ができる。 （思判表力）お金を入れようとしたり、お店の人にお金を渡したりトレイに置いたりしようとする。 自動販売機から品物が出ることに気付こうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「買い物をしよう」 （ク金銭の扱い）	・教師と一緒に学校周辺の自動販売機を使ったり、知念商会で簡単な買い物をしたりする経験をする。
1月		（知及技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをすることができる。 （思判表力）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気づき、自ら周りに働きかけることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）友達やいろいろな教師と関わり合いながら、季節の遊びや遊具を使った遊びをしようとする。 （思・判・表）人と関わり合いながら遊ぶことの楽しさに気づき、自ら周りに働きかけようとする。 （主・学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・季節の遊びをしたり、遊具で遊んだりするなど、教師や友達がいる場所で遊んだり、一緒に遊んだりする。
2月	35	（知及技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知らることができる。 （思判表力）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）教師と一緒に散歩し、自分の通う学校周辺の様子を知らようとしている。 （思・判・表）学校周辺にあるお気に入りの場所を見つけ、友達や先生に教えたり一緒にへ行ったりしようとしている。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「いろいろな場所を知ろう」 （コ社会の仕組みと公共施設）	・学校周辺を教師と一緒に散歩し、晴れや雨などの天候の違いに気付いたり、地域の行事や四季の移り変わりを感じたりする。
3月		（知及技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思判表力）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりできる。 （思・判・表）気持ちを表す言葉や挨拶をしたり、自分なりに気持ちを表現したりできる。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「気持ちを伝えよう」 （オ人との関わり）	気持ちを伝える言葉や挨拶があることを知ったり聞いたりして、自分なりに気持ちを表す経験をする。
年間を通して		（知及技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）簡単な身辺処理に気づき、教師と一緒に行おうとすることができる。 （学・人）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）生活習慣に関わる初歩的な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）簡単な身辺処理に気づき、教師と一緒に行おうとする。 （主学）具体的な活動や体験に興味や関心をもって学習しようとする。	「やってみよう」 （ア基本的生活習慣）	・できる力を活かしながら、簡単な身辺処理を教師と一緒にへ行ったり、少しずつ支援を減らしてできるようにしたりする。

年間を通して		（知及技）教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付くことができる。 （思判表力）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりすることができる。 （学・人）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとすることができる。	（知・技）・教師の言葉かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら一緒に行動することにより、簡単な日課に気付こうとしている。 （思・判・表）教師からの言葉かけや誘いを聞き、自ら活動に向かったり、教師と一緒に参加したりしようとしている。 （主学）身の回りの簡単な日課に関心や見通しをもって、行動しようとしている。	「どんな一日？」 （カ日課・予定）	・朝の会等で教師と一緒に日課を確認したり、日課に沿って行動したりする。
年間を通して		（知及技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりすることができる。 （思判表力）身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えることができる。 （学・人）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習することができる。	（知・技）身近な植物（野菜や花など）の世話をしたり、身近な自然を知ったりしようとしている。 （思・判・表）・身近な植物の成長や変化に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 （主・学）身の回りの生命や自然に興味や関心をもって学習しようとしている。	「自然に触れよう」 （サ生命・自然）	・季節の変化に合わせた、簡単な植物の栽培や収穫を教師と一緒にし、生長に伴う変化に触ったり嗅いだりして知る。
年間を通して		（知及技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶことができる。 （思判表力）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりすることができる。 （学・人）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりすることができる。	（知・技）身の回りの遊びに気付き、教師や友達と一緒に遊んだり、遊具を使って遊ぶうとしたりしている。 （思・判・表）教師の働きかけを受け入れ、いろいろな遊びをしたり、自分の好きな遊びを選んだりしようとしている。 （主・学）周囲に好奇心をもったり身の回りの遊びなどに関心をもったりしようとしている。	「いろいろな遊び」 （エ遊び）	・自分の好きな遊び ・教師とごっこ遊び ・遊具を使った遊び ・後片付け
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年		りんごがコロコロ コロリンコ おいしいな！ 自作教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な事象や物などに名前があることに気づくことができる。(小1段階) (思判表力)言葉による人との関わりを受け入れたり、自分の思いを持ったりする。(小1段階) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) 呼名や読み聞かせなどに気づき、言葉の持つ音やリズムに興味を持つことができる。(ア言葉の特徴(イ)) (イ我が国の言語文化(ア)(エ)) (思判表力) 身近な人の言葉かけや学校生活に関する事物の話に気づき、自分なりに応じることができる。(A聞くこと・話すこと アイ)(C読むことイ) (学・人) 言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技) 教師の言葉に注目し、自分と友達の名前の違い、具体物に特定の音のリズムがあることなどに気づいているか。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目したり、応じたりしようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 (評価資料) 活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「学校だいすき」 (A聞くこと・話すこと) 「いろいろな言葉」 (A聞くこと・話すこと)	・呼名された時に、発声や身振り手振りなどで応える。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを通して、様々な言葉を聞いたり、リズムや抑揚などを感じたりする。(知及技に関する活動) ・校内を散策、関心のある人や遊具などがある場所で過ごしなが、教師の言葉に耳を傾ける。(思判表力に関する活動)
2 学期	30	(知及技)遊びを通して、言葉の持つ楽しさに気づくことができる(イ 我が国の言語文化(イ)) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに気づいたり、興味を持ったりする。(イ 我が国の言語文化(ウ)) (思判表力)活動を通して出てくる、身近な事物に気づき、興味を持つことができる。(A聞くこと・話すこと ア)(C読むこと アウエ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、具体物や出来事に対し、言葉が結びついているか。 (思・判・表)活動に対し、期待感を持っていたり、また期待感を持っていることを伝えようとしていたりしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「やりとりを楽しもう」 (A聞くこと・話すこと C読むこと) 「言葉で遊ぼう」 (A聞くこと・話すこと)	・応答遊びや声まね遊びなどを通して、言葉に応じることに関心をもつ(知及技に関する活動) ・感触遊びを通して、擬音語や擬態語などの言葉の響きに触れる。(知及技に関する活動) ・絵本の読み聞かせやパネルシアターに注目したり、教師の言葉に対して、表情や身振り手振りなどで応えたりする。(思判表力に関する活動)
3 学期	14	(知及技)読み聞かせなどの活動を通して、言葉が物事を表していることを感じるができる。(ア言葉の特徴(ア)) (思判表力)自分にとって心地よいまたは苦手な活動や言葉かけに気づき、それを表情や身振り手振りで伝えることができる。(A聞くこと・話すこと ウ) 身近な人との関わりや出来事について伝えたり、好きなことを選んだりすることができる。(B書くこと アイ) (学・人)言葉の響きや関わることの良さに気づき、自分なりに応えようとする。(小1段階)	(知・技)遊びや教師の言葉に注目し、活動に対する見通しを持っているか。出来事と言葉が結びついている様子が見られるか。 (思・判・表)自分の好きな活動、苦手な活動を、自分なりに伝えようとしているか。 (主学)学校生活に関する言葉や挨拶などに関心を持ち、受け入れたり、働きかけようとしているか。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。(目線、表情、動作、発声、発語など)	「つたえよう」 (A聞くこと・話すこと) 「絵本だいすき」 (A聞くこと・話すこと)	・読み聞かせや体験的活動などと言葉を結びつける経験を重ねる。(知及技に関する活動) ・学習活動の中で、自身が好きな活動もしくは苦手な活動を表情や身振り手振りなどで伝える。(思・判・表) ・振り返りの中で、提示された具体物や絵カードなどから自身が好きな活動を選ぶことができる。(思・判・表)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程B） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年		自作教材・絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質に気づき、身の回りの数量や図形について着目する技能を身に付ける。 (思判表力)身の回りの数量や図形について直感的に捉える力や基礎的・基本的な性質などに気づき、感じ取る力など、数学的な表現を用いて事象表現する力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさに関心や興味をもって学習したことを結びつけ、問題を解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。 ・教師と一緒にものともとの対応させて配ることができる。 (思判表力) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。 ・ものともとの関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 ・教師と一緒にものともとの対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながらとらえようとしている。 ・ものともとの関連付けることに興味を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現しようとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習しようとしている。	「さわってみよう・さがしてみよう」 A数量の基礎 ア具体物の有無 「一つずつあわせてみよう」 イものともとの対応	具体物に触れたり、目で追ったりする。 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 ・身の回りのものに気づき、対応させたり、組み合わせたりする。 ・1対1対応しながら配布 ・荷物や食器を定位置に片付ける ・指さし、追視、つかむ、探す ・絵本の読み聞かせ、音絵本、パネルシアター ・プットイン教材 ・ソフト積み木
2学期	30	(知及技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱することができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気づき、学習や生活に生かすことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に5までの範囲を数唱しようとしている。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に着目し、数のまとまりや数え方に気づき、学習や生活に生かそうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習しようとしている。	「かぞえてみよう」 B数と計算 イ数えることの基礎	教師と一緒に、身の回りのものを数えたり、数唱したりして生活に生かす経験をする。 ・友だちの数、おやつの数 ・交代で遊具遊びをする ・絵本の読み聞かせ ・パネルシアター
3学期	14	(知及技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけることができる。 (思判表力) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気づき、日常生活の中で関心をもつことができる。 (学・人) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習することができる。	(知・技) ・教師と一緒に似ているもの二つを結びつけようとしている。 (思・判・表) ・ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気づき、日常生活の中で関心をもとうとしている。 (主学) ・数学的活動の楽しさに気づき、興味関心を持って学習しようとしている。	「おなじものをさがそう」C図形 ア分類・整理	形の違いに気付く。 明確に異なる2種類の具体物から同じものを見つける。 ・食器や道具のを定位置に片付ける ・絵本の読み聞かせ、音絵本 ・パネルシアター ・ソフト積み木 ・型はめパズル
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程B） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		音楽動画・音声教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気づくとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気づきながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。(小1段階) (学・人)音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しむことができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。	(知・技) ・音や音楽に気づき、音を感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・色々な楽器に興味・関心を持ち、手を伸ばしたり、音を出したりして楽器に親しもうとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを感じようとしている。	「どんなうたがあるかな」(音) ・おへんじうた ・こいのぼり ・ウォークアンドストップ	・おへんじうたに合わせて、名前が呼ばれたら、タンバリン等を打って応じる。 ・教師と一緒に身体を揺らして3拍子を感じたり、音楽を通してこいのぼりに関心をもつ。 ・「どんぐりころころ」「ピンクパンサーのテーマ曲」の曲の雰囲気、テンポの変化に合わせて、歩いたり止まったりする。
				「どんなうたがあるかな」(音) ・こいのぼり ・おべんとうばこのうた ・校歌ダンス 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「楽器の音をきいてみよう」(鑑) ・ドラムかんアンサンブル	・前月同様 ・教師の手本やパネルシアターなどの視覚教材を見聞きする。 ・校歌に合わせて旗を振る練習をする。 ・「楽器をならそう」という呼びかけに答えて簡単な打楽器を鳴らす。 ・大太鼓「どーんどーん」、小太鼓「とんとんとん」の歌詞に合わせて演奏する。
				「うたおう」(音) ・ばすにのって ・白保と八特の子ども ・月桃 「ならしてみよう」 ・たなばたさま ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・あめふりくまのこ ・ハンガリー舞曲第5	・曲に合わせて、友達、教師と共に身体を動かす。 ・白保小との交流会に向けて、曲を知る。 ・PPを見ながら、八重山の自然を感じ、平和の素晴らしさを感じる。 ・星空の映像を見ながら、ツリーチャイムを鳴らしたり、鈴をならしたりして、季節の音楽を楽しむ。 ・パネルシアターを楽しむ。 ・曲に合わせて、新聞紙をビリビリしたり、投げたりする。
				「うたおう」(音) ・うみ ・たなばたさま 「ならしてみよう」 ・がっきをならそう ・おおきなたいこ 「みてきいて」(鑑) ・プロジェクションマッピング	・小豆や砂を使って、海の波の音を作る。 ・前月同様
		(知及技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現することができる。 (思判表力) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりすることができる。 (学・人) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現することができる。	(知・技) ・拍や曲の特徴的なリズムを感じながら、表情や発声、身体の動きで表現しようとしている。 (思・判・表) ・教師と一緒に曲に合わせて楽器の音を奏でたり、音色を楽しんだりしようとしている。 (主学) ・教師や友だちと一緒に音楽活動をする楽しさを表現しようとしている。	「からだを動かそう」(音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ・校歌ダンス 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・3びきのやぎのがらがらどん	・セロファンでとんぼの色眼鏡を作って、曲に合わせてとんぼになりきる。 ・身体の部位の名称に合わせて触れる。 ・曲に合わせてペープサートを視聴し、登場人物になったつもりで声を発したり、身体を揺らしたりする。

2 学 期	30			「からだを動かそう」 (音) ・おぼけなんてないさ ・おやつたーぺよ ・バスごっこ 「一緒に音を楽しもう」(鑑) ・おもちゃのへいたい	・曲に合わせて、手足を動かしたり、身体を揺らしたり、繰り返し出てくる「さ」の部分で声を出したり、ジャンプしたりする。 ・教師の歌いかけに応じて、一人ずつ順番に動作したり、楽器をならしたり、声を出したりする。 ・段ボールで作ったバスに乗ったり、曲に合わせて友達に切符を渡したりして楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。
				「楽器をならそう」 (音) ・きらきらぼし 「むかいあってたのしくあそぼう」(音) ・とんとんとんとん ・むすんでひらいて 「うたやりズムを楽しもう」(鑑) ・おどるねこ	・曲に合わせて、友達と交代しながら楽器を演奏する。 ・友達や先生と向かい合って、曲に合わせて手遊びをする。
				「楽器をならそう」 (音) ・赤鼻のトナカイ 「うたやりズムを楽しもう」(鑑) ・あわてんぼうのサンタクロース	・季節の曲を楽しむ。 ・曲に合わせて、パネルシアターを楽しむ。 ・クリスマス会の練習
3 学 期	14	(知及技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思判表力) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (学・人) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	(知・技) ・音楽遊びを通して、身の回りの音や音の面白さに気付くことができる。 (思・判・表) ・身近な人の演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見付けたり、身体表現したりしながら聴くことができる。 (主学) ・様々な音楽作品を鑑賞し、音楽に親しみ興味関心を深めることができる。	「手遊びしよう」 「どうぶつになって」 (音) ・のねずみ ・くまさんくまさん 「わらべうたであそぼう」(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ・はないちもんめ	・児童と向かい合ってくすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・歌詞に合わせた動作で踊る。 ・曲に合わせて、昔遊びを楽しむ。
				「げんきなこえでうたおう」(音) ・まめまき ・おにのパンツ 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・はらぺこあおむし	・季節の歌を楽しむ。 ・曲に合わせて踊る。 ・パネルシアターを楽しむ。
				「歌って踊って」(音) ・ちえっちえっこり 「卒業式に向けて」 (音)・卒業式の歌 「音や音楽をきいて、自分なりの楽しさをみつけよう」(鑑) ・思い出のアルバム	・曲の速さを変えながら、身体を揺らして楽しくダンスをする。また、曲に合わせて自分の好きな楽器を鳴らす。 ・みんなの1年間を振り返るPPを作り、曲に合わせて1年間でがんばったこと成長したことを振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程B） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年		自作教材

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人)表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付こうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しむことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようことができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に自然物や人工物など、身近にあるものを目で見たり、手で触れたり、力を加えて変化を楽しもうとしている。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「作ってみよう ～ぺたぺた～」 (A表現)	「作ってみよう ～ぺたぺた～」 (A表現)
				「クレヨンを使って描いてみよう」 (A表現)	・家族の写真や両親の写真を見て思い浮かべながら、教師と一緒に自由に描き、組み合わせでお母さんやお父さんを描く。 ・母の日 ・父の日
				「作ってみよう ～貝殻、木の実、小枝を使って～」 (A表現)	・教師と一緒に外に出て葉、木の実、小枝などを拾う。 ・素材の違いを触って確かめ、並べたり貼ったりして、いろいろな物ができくことに気付く。 ・七夕飾り
				「見てみよう」(B鑑賞)	・教師と一緒に友達の作品を見合い、面白さや良さを感じる。
2学期	30	(知及技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思判表力) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することをしようすることができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に描いたり作ったりして、手指や体の動きによって自然に出てきた形や色、素材の変化に気付くことができる。 (思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせて、教師と一緒に表現することをしようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「見てみよう」(B鑑賞) 「作ってみよう ～敬老の日プレゼント～」 (A表現)	・友達の夏休みの作品を見たり、触れたりして、頑張ったことを伝え合う。 ・教師と一緒にお花紙を丸めたり、くしゃくしゃにしたりして花束を作る。 ・手作り花束を添えたメッセージカード
				「描いてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～」 (A表現)	・好きなお話や読み聞かせを聞いたり挿絵を見たりして、教師と一緒に思い描いたことを、自分の表現方法で描くことを楽しむ。 ・感想画
				「描いてみよう ～色水～」 (A表現)	・教師と一緒に、絵の具や花びらなどを使って、いろいろな色の水を作る。 ・作った色水を水鉄砲やじょうろ、スポンジ、霧吹きなどを使って、大きな紙に色をつける。
				「描いてみよう ～いろいろな形をぺたぺた押しして～」 (A表現)	・教師と一緒に野菜スタンプなどを押す感覚を感じたり、石・葉・硬貨をこすりだし、浮き出てくる形に気付いたりする。 ・版画 ・野菜スタンプ
		(知及技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりすることができる。	(知・技) 身近にある砂や水、紙や木などの材料に対して、手や体全体を使って自発的に働きかけたり、教師と一緒に使ったりしようとしている。	「描いてみよう ～今年の抱負～」(A表現) (B鑑賞)	・教師と一緒に筆を持って動かしたり、手や体全体を大きく使ったりして、自分の思いを描く。 ・描いた物を見せながら、今年の思いを発表し合う。 ・書き初め

3 学 期	14	(思判表力) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとする ことができる。 (学・人) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組むことができる。	(思・判・表) 手や体全体の感覚を働かせ、新しいことやものを教師と一緒に表現しようとしている。 (主学) ・表現や鑑賞の活動の楽しさや喜びに気付き、興味や関心をもって学習に取り組もうとしている。	「粘土で遊ぼう ～いろいろな粘土（油粘土・ホイップ粘土・紙粘土など）～」（A表現）	・教師と一緒に粘土を叩いたり、踏んだり、伸ばしたりしながら、粘土の感触の違いを感じる。 ・たたく、ちぎる、重ねる、ねじる、丸めるなど
				「作ってみよう ～ビリビリ・ひらひら～」（A表現）	・教師と一緒に手や体全体を使って、新聞紙やちらしを自由にちぎったり、まるめたりする。 ・小さくちぎった紙を雪、桜、花吹雪などに見立てて遊び、春を感じる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部6年（Ⅱ課程B） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)遊びや運動に必要な基本的な動きを身に付け、楽しく活動に取り組むことができる。(小1段階) (思判表力)健康な生活に必要な事柄を身に付け、取り組むことができる。(小1段階) (学・人)遊びや運動の喜びや楽しさを感じ、進んで活動に取り組むことができる。(小1段階)		
------	---	--	--

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりすることができる。 【思判表力】 体を動かすことの楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、体をひねったり、寝返りを行ったりしようとしている。 【思・判・表】 体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、友だちと一緒にゲームを行おうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「みんなで楽しく」 A体づくり運動遊び	・ラジオ体操 ・簡単なゲーム 台風の目 大玉転がし 玉入れ 風船バレー しっぽ取りゲーム かけっこ サークット 等
		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし

		【知及技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わったりすることができる。 【思判表力】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけることができる。 【学・人】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 水に親しみ、手足を動かしたり、水の温度や感触、浮いた感覚を味わおうとしている。 【思・判・表】 水に慣れ、自分の好きな動きや遊びを見つけようとしている。 【主学】 教師と一緒にプールでの決まりを守り、楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「水遊び」「プール学習」 D水あそび	・水遊び（じょうろ、ホース、シャワー、水鉄砲、バケツ、ペットボトル、しゃぼん玉遊び等） ・手足バタバタ、水に慣れよう ・体の力を抜いて、浮いてみよう！ ・ふりこ（スイング、ドルフィン） ・水中歩き ・宝さがし
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム ※上記活動よりも、運動会で行う活動の練習が中心となる。
		【知及技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぶことができる。	【知・技】 教師と一緒に、器械・器具を使って、楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 器械・器具を使って揺れを楽しむ、その楽しさや心地よさを自分なりに表現しようとしている。 【主学】 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って楽しく遊ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「粗大運動」 B器械・器具を使っの遊び	・スペースリング ・すべり台 ・シーツブランコ ・キャスターボード ・エアートランポリン ・ボールプール、ボールスライダー ・ラダー ・ファシリティーボール ・サーキットゲーム
2 学 期	30	【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走

		【知及技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、走る楽しさを味わうことができる。 【思判表力】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりすることができる。 【学・人】 最後まであきらめずにゴールに向かうことができる。	【知・技】 教師と一緒に、もしくは教師の援助を受けて、楽しみながら走ろうとしている。 【思・判・表】 教師の援助を受けて、決められた距離を自分なりの方法で、歩いたり、走ったりしようとしている。 【主学】 最後まで、あきらめずにゴールに向かおうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「持久走」 C走・跳の運動遊び	・目標決め ・かけっこ ・持久走
3 学 期	14	【知及技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしながらゲームを楽しむことができる。 【思判表力】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しむことができる。	【知・技】 教師と一緒に歩いたり、座位姿勢を保持したり、手足を伸ばしたりしようとしている。 【思・判・表】 ゲームの中で、友だちや教師と一緒に体を動かすことの楽しさや心地よさを、自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 友だちや教師と協力しながら、様々な伝承遊びを楽しもうとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「伝承遊び」 A体づくり運動遊び	・相撲 ・羽根つき（風船） ・綱引き ・はないちもんめ
		【知及技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 【思判表力】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを視線や表情、発声や身振り等で表現することができる。 【学・人】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びを行うことができる。	【知・技】 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かそうとしている。 【思・判・表】 ボールを投げたり、転がしたり、蹴ったり、捕ったりする楽しさを自分なりの方法で表現しようとしている。 【主学】 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「ボールで遊ぼう」 Eボール遊び	・ボウリング ・ポッチャ ・ティーベースボール ・ローリング卓球 ・ボール運びゲーム
		【知及技】 教師と一緒に感染症予防について学び、うがいやマスク、手洗い等、基本的な対策を行うことができる。 【思判表力】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手洗いをしたりすることができる。 【学・人】 身体計測による体重や身長の変化に興味、関心を持つことができる。	【知・技】 感染症予防として、うがいやマスク、手洗い等を行おうとしている。 【思・判・表】 体調が悪いときや怪我をして痛いときには教師に知らせようとしたり、手が汚れているときには、その状態を見て、手を洗おうとすることができる。 【主学】 昨年と比べて、体重や身長が変化していることを知り、自分の成長を感じることができる。 【評価資料】 活動の様子を観察で評価する。	「健康な生活」 (G 保健)	・大切な体 ・手洗い、うがい、水分補給、着替え ・身体測定 ・感染症予防対策 ・プライベートゾーン
留意点 引継ぎ等		・（A 体づくり運動遊び）ウォーミングアップ、集合・整列は、年間を通して指導する。 ・（F 表現運動）ラジオ体操、ダンスは、年間を通して指導する。 ・（G 保健）健康な生活は、年間を通して指導する ・単元は、児童の興味・関心、実態に応じて精選、入れ替え、変更等、柔軟性を持って取り扱う。			

令和7年度 小学部6学年（Ⅱ課程B） 外国語 年間指導計画

単位数／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		6 学年			
年間目標		(1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (3) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 (思弁表力) 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりできる。 (学・人) 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとることができる。	(知及技) 教師と一緒に、英語の歌や日常になじみのある英語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思弁表力) 教師と一緒に、英語を真似て話そうとしたり、相手の質問や要求に英語で応じたりしようとしている。 (学・人) 教師と一緒に、英語やジェスチャーや手話などで、コミュニケーションをとろうとしている。	「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取る活動【(3)ア】 Good morning Hello Goodbye Thank you Good など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。 【(1)イ(7)】 head shoulders knees and toes Sunday, Monday, Tuesday/Days of the Week Song Ten little indian boy など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ること。 【(1)イ(4)】 Halloween Christmas valentine's day など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付ける活動。 【(3)①ア(4)】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	色 曜日 月 数字 動物 果物 野菜 など
2 学期	15			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現する活動。【(3)①イ(4)】 Color tag (色鬼) など
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	・言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ること。【(1)ア】
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	

3 学 期	7			「挨拶をしよう」 「色々な英語を知ろう」 「色々な英語の歌を歌おう」 「外国の文化を知ろう」 「英語でゲームをしよう」	
				「一年間のまとめをしよう」	
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程B） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
35		6学年			自作教材・絵本
年間目標		・身近な人やものとの関わりの中で、道徳的な価値を感じたり、気づいたりして、より良く関わろうとする為の心情や態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	13	・身近な大人との関わりの中で、自分が受け入れられているという心地よさを感じて学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人が存在に気づき、親しみの気持ちを表現しようとする気持ちを持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在に気づき、興味関心を持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、その存在に気づく。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達の行動や表情などに注目している様子が見られるか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いのち探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ「ぶう ぶう ぶう」「あーそーぼ」「くつついた」「あめふりあつくん」など ・植物の栽培 ・散歩（お花探し） ・動物との触れあい体験
2学期	15	・身近な大人との関わりの中で、気持ちや要望を受け入れられたり、身辺を整えてもらうことの心地よさを感じたりして、安定感を持って学校生活を過ごす。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、身体を動かしたり、声を出したりして、自ら関わろうとする意欲を持つ。【主として人との関わりに関すること】 ・友達存在や集団の雰囲気気づき、心地よさを感じながら学校生活を過ごす。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、感触などを受け入れることができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・活動を通して、身体の緊張や表情が和らいでいる様子が見られるか。教師からの働きかけを、抵抗感なく受け入れているかどうか。 ・身近な大人に対して笑顔を向けたり、視線を送ったり、声を出したりしている様子が見られるか。 ・友達と過ごしたり、集団活動に参加したりした時に、表情が和らいでいたり、落ち着いていたりしているか。 ・身近な動植物に触れ、驚いたり喜んだり、感情が動いている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってあったかいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
3学期	7	・身近な大人の表情や態度などから、望ましい行動、望ましくない行動があることに気づき、望ましい行動を取ろうとする。【主として自分自身に関すること】 ・身近な大人に対して、自分の気持ちを自ら伝えようとする。【主として人との関わりに関すること】 ・友達の感情や集団の雰囲気を感じ、受け止めたり寄り添ったりしようとする気持ちを持つ。【主として集団や社会との関わりに関すること】 ・身近な動植物に触れ、興味関心を持つことができる。【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】	・自分がとった言動に対する教師の態度や表情などの反応を見て、葛藤している様子が見られるか。 ・活動を通して感じた感情を、身近な大人に対して、視線や表情、発声などで伝えようとしているかどうか。 ・友達の感情を受け止め、一緒に泣いたり笑ったりするなどの様子が見られるか。集団の雰囲気を感じて、穏やかに過ごす、活発に応じるなどの違いが見られるか。 ・自分から動植物に触れようとしたり、注目したりする様子が見られるか。教師の促しに喜んで応じている様子が見られるか。	・学校、だいすき ・いっしょってうれしいね ・みんなでやってみよう ・いきもの探検隊	・自己紹介 ・触れあい遊び（スキンシップ遊び） ・遊具遊び（トランポリン、ボールプール、箱車など） ・手遊び歌 ・絵本読み聞かせ
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程B） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6学年		自作教材・イラスト・写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	11	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ることができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・学級で目標を決める大切さを知り、意見を出し合って学級目標を作ろうとしている。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・夏休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・学年、学級開き ・一学期頑張ろう会 ・学級目標作り ・係活動を決めよう ・キャリアパスポート作り ・一学期の目標 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・一学期頑張った会 ・夏休みに向けて	・新しい学級の友達や先生を知る。 ・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事の確認 ・学級目標を決めて、書いて教室に貼る。 ・一学期の係活動を決める。 ・一学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、選んだりして発表する。 ・交流会の日時を知る。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・一学期頑張った会に参加する。 ・夏休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。
2 学期	14	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知及技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。(学・人) ・自分の好きなことや将来について考えることができる。(思判表力) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知及技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。(学・人) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。(思判表力) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知及技)	・2学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。(知・技) ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。(主学) ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。(思・判・表) ・集団で活動するよさを知り、集団での活動に参加することができる。(知・技) ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。(主学) ・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。(思・判・表) ・冬休みの安全な過ごし方について知り、元気に楽しく過ごすためにどうすればよいかわかる。(知・技)	・二学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・二学期の目標 ・係活動を決めよう ・修学旅行 ・学校間交流 ・(居住地校交流) ・キャリアパスポートの活用 ・二学期頑張った会 ・冬休みに向けて	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事の確認 ・二学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・二学期の係活動を決める。 ・児童集会に参加する。 ・学校や住んでいる地域では体験できないことを学習し、見聞を広げる。 ・異学年や他校の友達と歌を歌ったり、簡単なゲームしたりして交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・二学期頑張った会に参加する。 ・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。

3 学 期	4	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知及技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりすることができる。（学・人） ・自分の好きなことや将来について考えることができる。（思判表力） ・集団での活動に参加することができる。（学・人） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わっていく意欲を育む。（学・人） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えることができる。（思判表力） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持つ。（知及技）	・3学期の学習内容を知り、見通しを持つことができる。（知・技） ・自分の頑張りたいことを考えたり選択したりしようとしている。（主学） ・自分の好きなことや将来について考えようとしている。（思・判・表） ・集団での活動に参加しようとしている。（主学） ・同世代の児童との関わりや、大集団での活動を通して、社会と関わろうとしている。（主学） ・一年間を振り返り、目標を達成できたかどうか考えようとしている。（思・判・表） ・進級する学年・学部が現在と違いがあることを知り、今後の行事や学習について希望を持ち、伝えようとしている。（知・技）	・三学期頑張ろう会 ・キャリアパスポート作り ・三学期の目標 ・係活動を決めよう ・学校間交流（・居住地校交流） ・キャリアパスポートの活用 ・三学期頑張った会 ・進級学年・学部について	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事の確認 ・三学期の目標を決めて、キャリアパスポートに書いたり、イラスト等を貼ったりする。 ・三学期の係活動を決める。 ・あおぞら集会に参加する。 ・他学年の児童と交流する。 ・目標を達成できたか考える。 ・三学期頑張った会に参加する。 ・次の学年や学部について考える。
留意点 引継ぎ等					

あおぞら会（幼児児童生徒会）

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	2	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・第1回あおぞら集会 ・第2回あおぞら集会	・新役員紹介 ・年間活動計画 ・令和6年度幼児児童生徒総会
2 学 期	1		・八特祭テーマ ・第3回あおぞら集会 ・特体連報告放送	・八特祭テーマ発表、コール ・特体連選手激励会 ・特体連激励放送 ・特体連報告放送
3 学 期	3		・第4回あおぞら集会 ・第5回あおぞら集会 ・第6回あおぞら集会	・あおぞら役員選挙告示（選挙の内容の説明） ・立会演説会 ・体育館で投票 ・新役員の任命式及び引き継ぎ式 ・当選セレモニー ・当選証書授与

※あおぞら（幼児児童生徒）集会のある週の水曜日にあおぞら（幼児児童生徒）役員会を設定する（役員のみ）。

なお、各学部と調整して柔軟に日程は変更する。

※あおぞら会と学級活動の時数を合わせて、1学期13回、2学期15回、3学期7回の時数となる。

学校行事

学 期	時 数	活動の目標	活動・単元名	指導・活動内容
1 学 期	10	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標（特別活動全体の目標）に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	・1学期 始業式、終業式 ・身体測定 ・地震津波避難訓練 ・内科検診、歯科検診、心電図	・先生の話聞く。 ・自分の成長を知る。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・検査に落ち着いて受けることができる。 ・月ごとの振り返り
2 学 期	13		・2学期始業式、終業式 ・火災避難訓練 ・全校作業	・先生の話聞く。 ・安全に気をつけて行動することができる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み
3 学 期	5		・3学期始業式、修了式 ・全校作業 ・卒業式準備	・先生の話聞く。 ・行事に意欲的に参加できる。 ・月ごとの振り返り ・各行事の準備などの取り組み